

Re: 丈競山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年12月31日(木)18時11分10秒

越田和男さんへのお返事です。

> 最近の避難小屋の立派できれいなものには驚かされます。かつての避難小屋はおそろしく貧しく汚いのが普通でしたが、あちこちで最近覗いて見た避難小屋はどこもきれいですね。

1 1月に娘と行ったとき、あまりに快適だったので、再び行くことにしました。

なんといっても灯油ストーブが使えるので、濡れた衣類は乾かし、雪を入れた鍋をかけておくだけで楽チン水作り、いつでもお湯割り可能。大森さんが持ち上げてくださった日本酒とバーボンが進みました。管理されている丸岡山の会の方に感謝。

2 9日は雨のち雪で、上のほうは脛から膝のラッセル。

3 0日は晴れて、夜半は福井市街の夜景、朝日がドアから射し込み、やがて真っ白な白山が姿を見せました。

初めてスノーシューを使ってみました。登りは快適でしたが、下りは歩きにくくて途中から壺足で下りました。



アルプスに登った

投稿者：越田和男 投稿日：2015年12月31日(木)15時42分18秒

今年の登り納めは一寸背伸びしてアルプス登山！

良く歩くコースで、北鎌倉駅から建長寺－半僧坊－大平山－天園－獅子舞－鎌倉宮とたどる鎌倉アルプスの大縦走でした。最高峰の大平山は海拔159m。獅子舞の谷間に思いがけず残る紅葉が見事でした。最近地元では、「アルプス」というのをやめているとか、流石の見識か。

皆さん良いお年を！

Re: 丈競山

投稿者：越田和男 投稿日：2015年12月31日(木)15時29分42秒

> [No.2275\[元記事へ\]](#)

大森 山本さんへのお返事です。

最近の避難小屋の立派できれいなものには驚かされます。かつての避難小屋はおそろしく貧しく汚いのが普通でしたが、あちこちで最近覗いて見た避難小屋はどこもきれいですね。

ちなみに、丈競山（タケクラベヤマ）は全国の難読山名のリストに載ってました。

南峰と北峰が高さを競っているそうで、南峰の方が高くて1045mとか。

私が今年登った山で難読だったのは、栃木県の三叢山（ミカモヤマ）229mでした。広い関東平野を東北道で北上して最初にでくわす里山です。

丈競山

投稿者：大森 山本 投稿日：2015年12月29日(火)15時31分28秒

年末の休みに福井の裏山に遊びに来ました。貸切の避難小屋。快適です。



Re: 笠谷から笠が岳

投稿者：越田和男 投稿日：2015年12月23日(水)23時09分43秒

> [No.2273\[元記事へ\]](#)

山本 恵昭さんへのお返事です。

同感です。双六谷の源流域の各支流など。「原始の匂い」がしそうです。
ちょっと離れますが、後立山の西面もしかり、針ノ木やスバリの西面の岩場など。
越田

Re: 笠谷から笠が岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年12月21日(月)22時42分39秒

越田和男さんへのお返事です。

遅くなりましたが、今日ご指摘の岳人を見ました。
最初の写真は、第1の滝ですね。大きくて迫力がありました。
第3の滝も小さく載っていましたが、私は第2の洞窟の滝の方が個性的で魅力を感じました。どうして使わなかったのですかね。
8月に行った時、笠が岳へのアプローチとしては本流を詰めて正解でした。

笠が岳から薬師岳にかけての西面は、原始の匂いがして面白そうな所が沢山ありますね。

Re: 笠谷から笠が岳

投稿者：越田和男 投稿日：2015年12月14日(月)17時51分6秒

> [No.2226\[元記事へ\]](#)

山本 恵昭さんへのお返事です。

近着の雑誌「岳人」(1月号)をペラペラ捲っていると、何やら最近甲南のHP掲示板で山本君が書いていた記事で読んだ気がする。そうだ、笠が岳の笠谷だ。というわけで1ページ大に掲載された迫力のある滝の写真と山本君がアルバムにのつけてた写真を同定したりしました。

「岳人」の記事は服部文祥(文)と亀田正人(写真)によるもので、笠谷に入って、かつて播隆上人が拓いた登拝道を探ろうとした取材記で、この10月の取材行とありました。山本君の記事を読んでいたもので、興味深くルート図をたどり、楽しみました。

皆さん、たまには山の雑誌を買って、このような記事を楽しみましょう。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年12月12日(土)09時12分39秒

雪見会。1月23, 4日 中心に行きます。

今年は、スキー半分、温泉半分。なにせ温泉の宝庫。奥白馬温泉美人の湯もあります。素晴らしい温泉です。また北小谷に温泉付き道の駅、ができました。温泉に入ったら食事 300 円引き、食事したら温泉代 300 円引き、お土産にオヤマボクチの入った草団子どうぞ。奮ってご参加ください。

事務担当よりお知らせ

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年11月22日(日)09時59分7秒

一昨日、甲南学園広報部の松岡 治彦 様より前月の甲南山岳部創部 90 周年記念式典の記事を大学のホームページに掲載いたしましたとの報告がありました。

下記をご覧ください。

<http://www.konan-u.ac.jp/topics/news/view/top/3263>

丈競山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年11月16日(月)22時12分6秒

15日16日で、娘と福井の丈競山に行ってきました。

15日午前中は越前かに祭りへ行くが、あまりに高いので手が出ず。午後から晴れの予報なのにいつまでも雨。仕方が無いので、4時前に雨具を着て青少年旅行村を出発。ロープが張ってある急登を終えると冠山。日も暮れてヘッドラン行動で浄法寺山を経て丈競山山頂避難小屋へ6時過ぎに到着。トイレもあり快適。鍋で暖まり、広々貸切ごろ寝。

16日晴れ。扉を開けると朝日が小屋の中まで入り込む。山頂にあるだけあって展望は抜群。福井の街は雲海に覆われ、その向こうに日本海。反対側には白山。昨日はこんな所を登って来たんだと確認しながら下山。禅の里の温泉に入って帰路へ。

なかなか立派で快適な小屋でした。日頃管理をされている丸岡山の会の皆さんに感謝します。





Re: 山嶽寮

投稿者：越田和男 投稿日：2015年11月14日(土)12時18分3秒

> [No.2267\[元記事へ\]](#)

大森雅宏さんへのお返事です。

大森君の『山嶽寮』編集引退宣言は如何にも残念です。

「本業の多忙もあり」とのご事情もあり、何とかもう少しやってよ、とも言いづらいのですが。

思えば10年間、伝統的な甲南山岳会の雰囲気、毎号の紙面に良く醸し出されており、貴君がやってくれてることで、とっぴりと甘えて安心してました。未練がましいですが、後継者が決まるまでの間に貴君の気が変わって、そんならもう一寸やりますわ、といってくれるなんてことになれば、なんて勝手な期待もしています。『岳人』や『山と溪谷』の部会報紹介欄にはいつも好意的に取り上げられてましたし、知人との会話で、甲南の『山嶽寮』が理想やね、などといわれることもあり、誇らしく思っておりました。

言葉足らずですが、取り敢えずは、長い間のご尽力に感謝、感謝、感謝・・・

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年11月14日(土)09時57分8秒

山本恵昭さんから山本薫さんまで、山嶽寮について皆さんに書き込みいただきありがとうございます。
編集、57号から70号まで10年間（途中4年は福田さんが担当されました）皆さんのご寄稿で発行してまいりました。改めてお礼を申し上げます。

10年たちますと誌面も新しさに欠けます。「手のはやさ」も落ちてきましたし本業の多忙もありこのあたりで編集担当を降板いたします。次の編集担当にも旧倍のご支援をお願いいたします。

兩宮さんの論考も飯田さんの随筆も平井先生のご寄稿も、思い出深いのは沢山あって、もちろん越田さん・福田さんの紀行やら、挙げかけたら10年皆さん全部をご紹介しないといけなくなります。ホームページにも会員短信にも助けていただきました。

編集担当としては、今年の70号、香月さん・鷲尾さんから松成さんまで登場いただいた年代を超えての写真の思い出がいい区切りになりました。

ありがとうございました。

山嶽寮のお礼

投稿者：山本 薫 投稿日：2015年11月13日(金)21時07分14秒

山嶽寮お送り頂き有難うございます、お礼の返事大変遅くなって申し訳ございません。何時もながら良く纏められていて感心します。特に今号の出来栄は素晴らしいの一言です。貴会の益々の発展をお祈りしております。

小生の所属している会も漸く40周年を迎えましたが何時も原稿不足で機関誌がともに発行出来ていません、皆様のモチを見習う様に会員に話したいと思っています。有難うございました。

カニキノコお礼

投稿者：tani 投稿日：2015年11月12日(木)23時49分42秒

カニキノコ会、今年も参加することができず残念でした。

平井さん、井上さんお疲れのところ立派なカコと貴重なナメコを届けてくださり感謝感謝でございます。

会に参加された皆様、本当に有り難うございました！

来年こそ参加させて頂きますのでよろしく願いいたします。

井上さん

先日の90周年記念式典での写真、有り難うございました。

カニキノコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年11月9日(月)21時48分7秒

今年のカニキノコキャンプにご参加いただいたのは、平井さん、井上さん、大森さん、私、そしてキャンプ場で武田さん、計5名。

7日(土) 今年の森は何か変。暖かく乾燥し過ぎ。その影響か、古くてぼろぼろのナメコは沢山あるのですが、ちょうど良いのは少しだけ。ムキタケも少ない。まあ5人で食べるには十分ですが。

いつもの冷凍カニ大箱は買わず、スーパーの冷凍カニを少々、鱧と豚の鍋で安上がりに。1尾250円の鱧が結構旨かったです。

それぞれお持ち頂いた各種お酒でほろ酔いに。やっぱり、香住鶴「ひやおろし」が合いますね。

8日(日) カニ大漁のようでしたが、6日の解禁直後のためか、競り値は高い目。でも、そのぶん上物でした。

次の週末は、下の娘と福井の丈競山で1泊の予定。

そろそろ、雪山でしょうか。

山岳寮 第70号拝受

投稿者：南井英弘 投稿日：2015年11月9日(月)21時09分55秒

この度「山岳寮第70号」を拝受しKAC皆様のご高配に感謝しています。

花見会に何度もお招きいただいた大関さんの追悼から始まり、雪見会、カラコラム、バルトロ、ドロミテやダーズリン、高遠、日本の山々にご一緒の方がたが続いて登場されるので一気に拝読させていただきました。

中でも雨宮さんの紀行と論考には最近にない強烈な刺激を受けました。平井吉夫さんの翻訳とあとがきも知識の欠如した部分を補ってくれました。

ガチャさん、越田さんと一緒に出かけたダーズリン経由のシンガリラ尾根、1931年、自分の生まれる4年前に田口一郎さんが出かけ、カンチエンジュンガ山塊を偵察されていたとは驚異の情報でした。

益々のご発展をお祈りしています。まず?存例まで。

山嶽寮

投稿者：武田雄三 投稿日：2015年11月8日(日)22時48分21秒

大森編集子殿

遅まきながら漸く読み終わりました。DVDはこれから見させて貰います。

元々創部90周年記念号は発行しないと取り決めていたのに、良く此処まで纏め上げて呉れ有難う。

従来と違い写真を多く取り入れる事により小生には斬新に映り良かったと思います。

部室整理の際に見付かった一葉の写真をベースに、従来誌上に登場しなかった多くの諸兄弟がこの写真に寄せる思いを寄稿されており楽しく拝読しました。

略毎回寄稿戴いている

雨さんの「無駄なくテンポの良い」紀行文と毎回新たな視点からの論考

平井吉生さん翻訳の取り上げられる事の少なかった「ソビエト・アルピニズムの文化と歴史」
越田さんの「甲南山岳部・山岳会 90 年通史概説」
甲南山岳会の良き文化を繋いで居られる各兄に感謝し、読後の感想とします。

かに・きのこ

投稿者：大森 雅宏 投稿日：2015 年 11 月 8 日(日)20 時 42 分 36 秒

兵庫県北部某所のきのこの写真と、宴会風景を貼り付けます。



kac 創部 90 周年式典

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015 年 11 月 2 日(月)17 時 10 分 9 秒

裏方で何かと目に見えぬところでお世話になった会員には特に御礼を申します。ダンケ！！。小川守正、アヒル大先輩に御報告しました。足が大変不自由なので、出れなかったと云われてました。みな元気に、病もつてる会員は、山や S P I R I T で乗り越えましょう。小生も爆弾抱えてますが、100周年を迎えられるように、老化予防にも心がけましょう。

。

御礼

投稿者：小西 投稿日：2015 年 11 月 1 日(日)16 時 48 分 23 秒

「山嶽寮」贈って頂きありがとうございました。興味ある考察文、皆様の記録、エピソード、動向、楽しく拝読させていただきます。

90周年を迎えられた貴会の益々の発展お祈りしております。

創部 90 周年 式典

投稿者：井上 知三 投稿日：2015 年 11 月 1 日(日)11 時 41 分 14 秒

90 周年式典からもうすぐ 1 ヶ月になろうとしていますが、昨日写真屋さんから写真データが送られてきたので写真と共に報告いたします。

参加者は 90 歳の東京から参加の福井 實さんから西川 けい子の年代の女性部員・30 歳の谷 勇輝さん、高校山岳部の坂田 茂樹さんの年代方々同伴者も含め 57 名の参加者となりました。

昨年から平井 幹男会長の声かけで平生会を幾度も開催し色々な意見を取りまとめ又、休部状態も考慮して内輪の会とすることになりました。会場の候補も色々ありましたが皆さんが慣れ親しんだ大学となり教室と隣接するカフェ・パンセとなりました。

その後学校との交渉・接触は会長・安井さんを中心に懇親会は飲食の経験を生かして牧野さんとそれぞれが時間を割いて奔走されました。その結果、来賓として学長 長坂 悦敬 先生をはじめ学生部 部長・課長・スポーツ強化支援室長・広報部の方々 5 名をお招きすることができました。

いよいよ式典当日、早朝より持ち場に集まり教室のプロジェクターの調整・学内の案内板の設置と手際よく準備をいたしました。特に女性陣のまとめ役の西川さん受付ありがとうございました。

第一部 式典は大森さんの手際よく流暢な司会で始まり平井 会長挨拶・来賓 学長 長坂先生の祝辞、その後リレートーク「山の思い出」をプロジェクターを使い武田さん・渋谷さん・山本さん・谷さんの順番でお話しされました。最後は南里 章二さんの講演「山、砂漠、大河そしてアフリカ」を興味深く清聴し一部を少し時間超過で無事終了しました。

記念撮影後、平井 一正 名誉会長の挨拶・乾杯で二部懇親会が始まり、それぞれが美酒・料理でテーブルを囲み楽しい雰囲気の中「会員の皆様から一言」ではそれぞれが時代の思い出話に花が咲きました。特に女性部員の話は楽しかったです。最後に部歌「山の歌」を斉唱し午後 3 時に閉会いたしました。皆さんが協力して下さり素晴らしい式典・懇親会であったと思います。

最後に一言、懇親会会場に山岳会通信 1 号から今回の 70 号までがすべて展示されていましたが、これは大森さんがザックに詰めて当日持参されたものです。大森さん本当に重たいのにご苦労様でした感謝いたします。

写真 上から 学長祝辞・集合写真・懇親会乾杯



山岳寮有難うございました

投稿者：井上 徹 投稿日：2015年10月29日(木)19時13分12秒

今日、楽しみにしておりました『山岳寮』を受け取りました。有難うございました。次号から「会費を払わん奴には送らん！」とあり、早速ネットで送金させていただきました。大関様がお亡くなりになった、という記事を拝見し、驚いております。柏さん、塩さん、ドンキチ君までヨットで海に繰り出すご時勢に驚いております。10数

年前に予言しましたように、日本にもクルーズが根づいてきつつあるようです。船旅も本当にいいものですよ！！

カニ茸

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年10月26日(月)10時45分9秒

山本先生、いつもながらご苦労様でした。

今回のカニ茸、是非参加させていただきますので、宜しく願います。

11月7日(土曜日)10時、いつもの駐車場所に行く予定です。

平井君のあとがきを読んで

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年10月25日(日)23時54分45秒

「あとがき」に込められた 田口二郎さんへのオマージュ（尊敬 礼賛）

平井吉夫君が山嶽寮 70 号に載せた『ソビエトアルピニズムの文化と歴史』の訳者の「あとがき」には、「田口二郎さんからの宿題」と題が付けられている。

平井君が田口さんから預かった宿題はソ連登山史の解明でした。

田口二郎著『東西登山史考』は、著者が渉猟された登山史料に独自の論考を加え、書き下された作品ですが、

鉄のカーテンで閉ざされて、渉猟がままならなかったソ連登山史には、触れられていません。

平井君は田口さんから書き残したロシアの登山の発展について考えたいので「一度うちにきてくれ」と言われ、

田口邸を訪ねたとき、田口さんの口からサラディンの名前がしきりに出た、と「あとがき」に書いています。

ロレンツ・サラディン（1896～1936）とは？

「西欧よりもロシアでその業績が多くの人々に知られているスイス人は？ スターリン時代に個人ツアーリストとしてソビエト連邦の山に登ることのできた男は？ たった一人でロシアの最も著名な登山家グループと親交を結んだ人物は？」平井吉夫・訳文より引用。

この謎の人物について A・シュヴァルツェンバッハというスイスの女性作家が『ロレンツ・サラディン 山の生涯』という本（伝記）を 1938 年に上梓している。

この本が上梓されたころ田口さんはスイスに滞在されていたので、この本を読まれていたか、または誰かに聞かれたかして、サラディンの名前が記憶にあったのでしょうか。

そうでないと田口さんの口からサラディンの名前は出てこないと思います。

田口さんを魅了したサラディンについては、上記の『ロレンツ・サラディン 山の生涯』の復刻版（2007 年刊）を平井君が入手して読了していました。

復刻版では初版で欠落していたサラディンの事跡や当時のソ連登山事情について、ドイツの登山家ロベルト・シュタイナーが詳しい解説を書き加えています。

復刻版の『ロレンツ・サラディン 山の生涯』と、『ソビエトアルピニズムの文化と歴史』の翻訳で、

平井君は「田口さんからの宿題」に応えました。

鉄のカーテンが開かれてソ連登山史の実態が紹介されたのです。田口さんの心残りだったソ連アルピニズム

の発展に関する文献は、田口さんの没後 17 年を経て山嶽寮に掲載された。

最晩年の田口さんは失礼ながら脳に障害を負い視野が狭まり、『東西登山史考』の出版では、平井君がその刊行に力いっぱいのお手伝いをしています。

膨大な田口メモに見る知識の該博さ、渉猟した文献の広さと読み込みの深さに、平井君は教えられ、田口さんは平井君に助けられ、上記の書が刊行されたのです。

『東西登山史考』は、いわば田口登山史、詳しくは田口平井登山史でもあり、「あとがき」末尾で平井君が田口さんに語る言葉に、知的営為の遊戯者としての二人にあった、師弟の絆を感じます。

カニキノ 下見

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年10月25日(日)23時07分10秒

この土日で、妻とカニキノの下見に行ってきました。

扇の山の林道は問題なし。

森の中はカラカラに乾燥していて、ナメコもムキタケもあるのはほとんどが幼菌。一雨あるとニョキニョキと大きくなるのかも。

浜坂のキャンプ場炊事場は開いていました。

公園には「キャンプ禁止」バーベキュー禁止」の張り紙。

今日は、浜坂港より諸寄港の方が賑わっていました。サザエ、アワビ、ドロエビに混じって、巨大なヒラメが上がっていました。

居組港ではサーフィンをする人もいました。

ドントについて

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年10月23日(金)13時52分23秒

『明解 日本山岳史』布川欣一（2015・山溪 ￥880）の84ページ～88ページに、神戸居留外国人について の記述があります。

@ドント

生没年度不明 国籍 スイスかカナダ とあります。

著者がなにを出典・根拠とされたのかはわかりません。

@ドント岩

六甲山頂近くで山仲間が集合場所とした目印の大きな岩（イナカの記事から）

どこかはわかりません。

もっともこの二つは、いまとなってはどうでもいいことで、ドントが『イナカ』を発行したのは、雑誌が残っているので、確かです。

ちなみに、明治末期～大正初期の『イナカ』¥五円～¥七円は、今ならいったい、いかほどか。どなたか、調べてください。

山嶽寮

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年10月23日(金)00時57分26秒

山嶽寮が届きました。有難うございます。
通勤バスの中でちょっとずつ読ませて頂いています。

☆「この一葉に寄せて」

色々な方のエピソードや山への思いが伺えて、すいすいと読み進みました。

☆福田さんの「鹿島槍東尾根登攀」

5月に我々が行ったときの第2岩峰登攀の緊張感が思わず蘇ってくる詳細な記述。昭和初期に、しかも3月にここを登られたとは、いまさらながら諸先輩方の偉大さに敬服です。

☆雨宮さんの「散々な旅 素晴らしき旅」

パキスタン人のしたたかな現場対応力。

私も体験しました。チトラルからペシャワルに戻る乗り合いバスが途中からノロノロ運転となり、夕方着の予定なのになかなか着かない。ブレーキが故障したそうで、真っ暗な中どこをどう走っているのかも分からないまま、不安が募るばかり。何度も車を止めてボンネットを開けては何やらごそごそ。最後は、縫糸で修理をしだす始末。深夜日付が変わってから無事ペシャワルに到着したときには、同乗者全員から拍手が起こりました。

パタゴニア、ぜひ行って見たい憧れの地です。

☆雨宮さんの「日本アルプスの発見 その実像と虚像」

新神戸駅から布引貯水池を通して、市が原を超えた西側にドウトリッジという尾根があります。何てことない尾根に何でそんな名前がついているのかなと思っていました。ウエストンの名前はよく聞きますが、ドントってどんな人が全く知りませんでした。ドント岩はどこにあるのでしょうか。

福田さんの記述を読んでいて、素朴な疑問点が二つ。

①「夜は快適コンパだ。ソーセージをジージーとストーブで焼きながらお茶を飲むのだ。」

..お茶？

登攀を終えて宴会となれば、私的にはそこはお酒でしょ。たぶん、大森さんも川野も同意見では無いでしょうか。なぜにお茶なのでしょう。

②「パイカンが開けられる。」

..パイカン？

私の現役時代、ペミカンという鶏肉や豚肉をラードで封入したカロリーの塊のような食材がありました。パイカンって何でしょうか。もしかしてパイナップルの缶詰。

Re: 写真の投稿

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年10月15日(木)19時48分4秒

> [No.2250\[元記事へ\]](#)

> 大森君と山本君から写真の投稿がありました。

> アルバムにUPしました。

水晶岳東面カール、また好きな場所が増えました。
でも、また行こうと思っても、なかなか行けませんけどね。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2015年10月14日(水)12時12分52秒

大森君と山本君から写真の投稿がありました。
アルバムにUPしました。

カニ、茸に集合

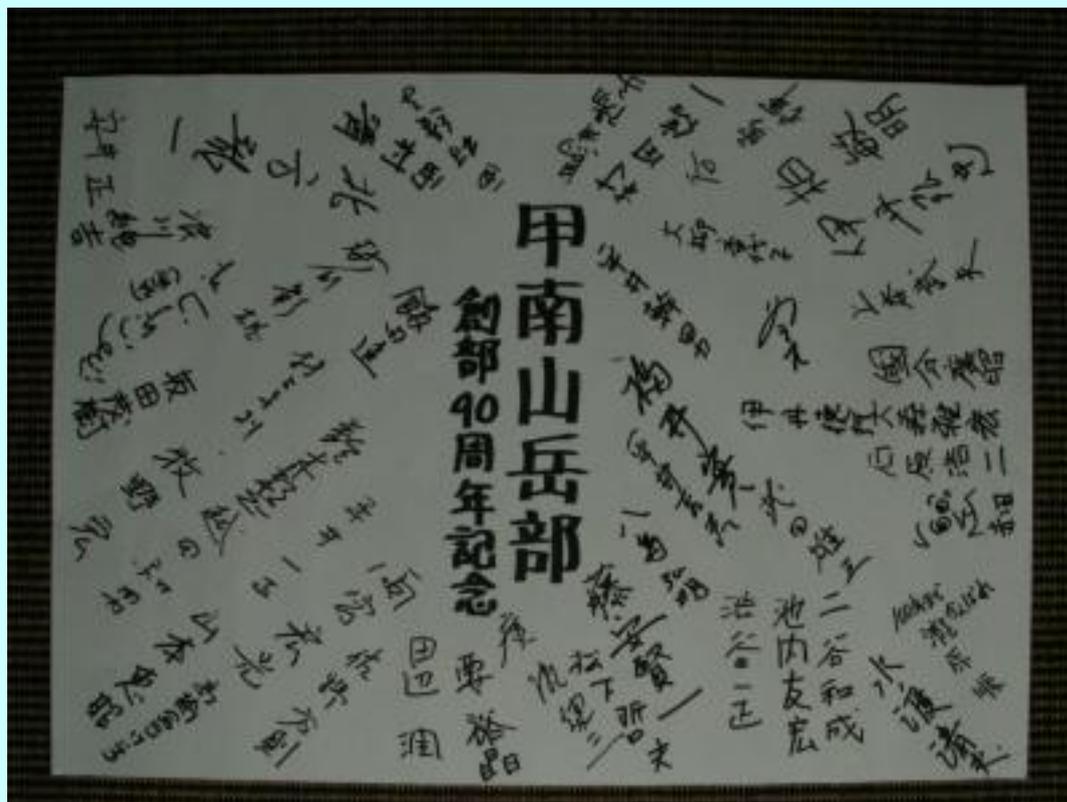
投稿者：平井幹男 投稿日：2015年10月13日(火)10時57分55秒

創部90周年式典、懐かしい先輩、後輩にお会い出来てとても楽しいひと時を過ごすことができ、本当にありがとうございました。
この盛り上がりをもままに、山本先生のカニと茸の会に皆さんどしどし参加しましょう。

90周年の寄せ書き

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年10月12日(月)20時05分46秒

土曜の90周年記念行事、ご出席の皆様の寄せ書きをご披露します。



新聞記事

投稿者：南里章二 投稿日：2015年10月11日(日)14時24分1秒

昨日はお疲れさまでした。参加された皆様方のすべてがこの記念式典を無事成功させたいという思いが結集して、いい集会になったと思います。スピーチの流れからはやや逸脱した私の拙い講演もしっかりご清聴いただき感謝いたしています。早速今朝の神戸新聞に掲載されましたので 大森さんにおねがいで、記事を掲示板にはりつけていただきました。山岳会の歴史にいい記念になるかと思ひます。本当にありがとうございました

90周年の会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年10月11日(日)13時29分14秒

90周年の記念式典、南里さんから新聞記事の提供がありました。
画像を貼り付けます。

後先になりますが、説明は南里さんが書き込みされると思ひます。



カニキノコキャンプ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年10月11日(日)07時47分1秒

> [No.2243\[元記事へ\]](#)

先週、リレートークの準備のために昔の写真を探し出していると、どれも思い出一杯でパワーポイント130枚くらいになってしまいました。

当日朝、教室であわてて厳選し削除して枚数を減らしたのですが、結局時間が気になって早口で慌しいプレゼンになってしまいました。せっかくいろいろな方が来られていたのに、じっくりとお話できず失礼しました。

さて11月6日のズワイガニ漁の解禁日が近づいてきました。

今年のカニキノコキャンプですが、11月7日(土)8日(日)で行います。

例年通り、10 時扇の山畑が平駐車場集合で考えています。夕方の宴会のみ参加も可能です。
参加を希望される方は、掲示板等でご連絡ください。

総会

投稿者：川野幸彦 投稿日：2015 年 10 月 11 日(日)04 時 02 分 14 秒

平井さんはじめ幹事の先輩の皆様。いろいろとありがとうございました。
非常に楽しい総会でした。ただ、飲みすぎました。まだ、アルコールが残りしんどいです。
また、宴会等のときはお誘いください。よろしく申し上げます。

90周年記念集会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015 年 10 月 10 日(土)19 時 06 分 27 秒

90周年記念集会、ご参集の皆様ありがとうございました。
進行の都合で皆さんにお話を伺えなかったことが残念なことです。まあこれも仕方がないですかね。
リレートークのお話、自身の時代にかかることは、とくに身近な感覚でした。ヒマラヤの記録など。過ぎた時代と現在のことまた将来のこと楽しく気になることはいくつもありましたが、先のことは不明確です。まずは将来のことに焦点を当てて山登りを考えたいと思います。
といて、過ぎたことが何にもならないことではありません。卒業以来お久しぶりに会いして、これからいい感じのお付き合いになったらということもあります。
お目にかかって、ああよかったと思う方が大勢おいでになったのがうれしいことでした。

キノコの季節

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015 年 10 月 5 日(月)01 時 39 分 55 秒

10月3日土曜日、県北某山にキノコ狩り。目指すM I 茸はちょっと時期が遅く、ドロドロ5株とパサパサ1株を発見。残念ながら、食に耐えない。
その代わり、クリタケ、ナラタケは大獵、ヤマブシタケも2つほど収穫。
先日、平の小屋で夕食に出されて美味しかったホコリタケも見つけましたが、もう内部に胞子が出来てたので食用にせず。
紅葉にはまだ早いですが、季節は確実に秋に。

四国劔山～三嶺縦走

投稿者：kannroku 投稿日：2015 年 9 月 27 日(日)16 時 25 分 12 秒

2年前より娘婿と山に行くようになり、今年は私が行ってみたかった四国劔山から三嶺の縦走に。
9月21日(月)曇り 大津早立ちをして徳島見ノ越 10時10分着 駐車場は満杯で少し離れた道路駐車。
10時30分劔登山口出発。頂上昼過ぎ着。人でいっぱい、これから行く次郎笈の頂上はガスでかくれたり、現われたりの繰り返し。急いで昼食を食べて一気に120m程降り切る。頂上へ登ると、トラバースすると二手のルート。若い婿殿は頂上。年寄りにはトラバースへ。この二手合流点近くに水場がありここで各々2Lの水を補給する。一変に荷が重くなったようで、今日の予定の白髪避難小屋は無理かもとよぎる。劔

山⇒次郎笈⇒高知側へ降りたり、登ってくる人達が若干いるが、ここから三嶺には我等二人だけの旅となった。途中三嶺から来た二組の人と出会ったのみ。

丸石⇒丸石避難小屋に着いたのは、15時過ぎ。ここから白髪避難小屋まで3時間半見るとしたら日が暮れての行動となるので、断念して丸石避難小屋泊まりとする。この小屋には水場なし。先ほどの4Lで夕食、朝食は十分いける。我等の後から2人×2組+1人×1組=5人の人が来る。何もすることがないので互いに出身地や明日はどうするかとか、諸々の話で過ごす。愛媛・岡山・大阪の人達で単独行の大阪の人だけが三嶺に行くとのことで、一緒にパーティに入れてくれと行って来たが、勝手に後から付いて来るのならOKと。今日の歩行時間休憩共約4時間45分

9月22日(火) 快晴 4時15分起き 5時15分ヘッドランプ点けて出発 (今日は下の名頃13時43分バスに乗って見ノ越の車回収が絶対) 睡眠十分のお陰か昨日より体が軽く感じる。単独行の59歳の男性も一緒だったが途中で先に行ってくださいとの言。ちょうど1時間半程行ったところで反対側三嶺方面

から来た人に出会う。昨日白髪避難小屋にはテント1人、小屋泊単独行3人との事。右側に女性的な三嶺の綺麗な姿が見える。単独行の方追いついてきて、水場に行ったらしいが、岩場の横断が怖くて汲めなかった由。まだ2L満杯であるので分けてあげる。

丸石避難小屋⇒高の瀬⇒白髪避難小屋⇒白髪分岐⇒カヤハゲ⇒三嶺⇒名頃バス停 白髪分岐で自転車を担いだ3人パーティの人達と遭遇。自転車は10kg~13kgの重量との事で高知側香美から来たとのこと。山屋出身らしい。

カヤハゲから三嶺頂上迄チョットヤバイ鎖場の最後の上り30分。10時20分着。30分程360°の展望を満喫して下山に。もう下りのみなので、道も迷わないと思い、車回収を婿殿にお願いして先行下山。私は三嶺ヒュッテ避難小屋を見て天然記念物ミヤマクマササ見たりしてゆっくり下山。この下山が一番しんどかった。

今日の歩行時間休憩共約7時間10分(森本8時間10分)

12年前に登った剣山、5年前登った三嶺、やっと頂上がつながりました。今度は天狗塚の方に行ってみたいです。何回も行きたい稜線でした。





90周年記念式典。

投稿者：水渡清夫 投稿日：2015年9月26日(土)13時22分14秒

返事が大変遅くなり申し訳ありません。90周年記念式典に参加いたします。水渡

黒部東沢谷から水晶岳赤牛岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年9月25日(金)21時41分53秒

この連休で黒部上の廊下へ行こうというのが第1案でした。しかし、ここしばらく異常に気温が低く、泳ぎ中心の沢は断念。その代替として浮かび上がったのが東沢谷、せっかくなのでめったに行く機会のない水晶岳、赤牛岳も追加して5日間の山行となりました。

19日2:30に扇沢に到着するがすでに上の駐車場は満車で、下の駐車場に止めて仮眠。7:00のトローリーバスに乗って黒部ダムへ。湖畔の登山道を辿り、12:00の平の渡し船に乗る。再び湖畔の登山道を行くがアップダウンが激しくしんどい。奥黒部ヒュッテのテント場に15:30着。テントを張り、東沢と黒部本流の合流点で釣りをするが反応なし。山岳警備隊のお兄さんとはしばし談笑。

20日小屋に届けを出して、7:30発。小屋の取水管を辿り東沢へ降りる。すぐに膝上くらいの渡渉

で右岸へ渡り、しばらく進むと行き詰まる。水流も激しいので高巻いて進む。

何度か高巻きを繰り返して下部の廊下地帯を越えると、両岸が開けて谷が明るくなる。早速、竿を出すと20cmほどのイワナが釣れるが、まだまだ小さいのでリリース。右に左にルートを探り、渡渉を繰り返して高度を上げていくと、1740m付近で絶好の釣りポイントに遭遇し、約1時間の道草となる。最初はミミズで25cmを1尾。続きが出ないので、毛鉤にかえて試みるが一回のアタックで反応がなくなる。それならとザックや体に飛んでくる黒っぽいアブを捕まえて餌にすると効果抜群。30cm弱を3尾追加し、今夜の食料に。

1940m付近に先行パーティがテント設営している。さらに遡ると豊かな森が沢筋まで迫り、適当なテントサイトがない。2010m付近にかりうじて砂地を見つけ、今宵のテント場とする16:30。すぐ横に湧き水があり、その小さな流れに産卵準備中のイワナのカップルがいて心を癒してくれる。焚火を試みるが、流木も僅かしかなく湿っていてなかなか本格的に燃え盛らない。かりうじてお湯を沸かし岩魚を2尾だけ焼くが、意気消沈消灯。

21日7:00発、朝から水が冷たいが、登れば登るほど視界が開けて気分は晴れやかに。途中の休憩で焚火をおこし、昨日の残りのイワナ2尾を焼いて贅沢な時間を過ごす。

2300m付近から東沢乗越へ向かう沢から離れて、水晶岳東面カールへ続く右の沢に入る。手付かずの黒々とした岩の累積と紅葉のコントラストが美しい。荒々しい水晶岳の岩峰群に囲まれながら、雄大な景色に圧倒される。最後の流れで4リットルの水を汲み、ガレ場と草付きをつないで水晶岳と温泉沢の頭との間の登山道にたどり着く14:30。

水晶岳を空身で往復し、温泉沢の頭を越えた辺りで泊16:00。

22日朝食を簡単に済ませ、6:00発。左には朝日に輝く薬師岳、右にはまだ黒い裏銀座の山々、その真ん中を赤牛岳への道が続く。8:00赤牛岳山頂に到着。前には立山、剣岳、黒部湖、遙か彼方に白馬岳。振り返ると黒部五郎岳、笠が岳、槍ヶ岳。どちらを向いても山また山である。まさに北アルプスど真ん中。

いよいよ読売新道の下りである。上部は石庭のような尾根に紅葉が散りばめられて美しい。コケモモとクロマメノキの果実を少々頂いてビタミン補給。樹林帯に入ると、噂通り、道はぬかるみ岩や木の根は滑りやすく苦労する。最後はドンと下って、13:00奥黒部ヒュッテに到着。まだ時間も早いので本日は平の小屋泊まりということにして、最終17:20の渡し船を目指す。

渡船場について1時間ほど待ち時間があつたので、棧橋から毛鉤を垂れる。突然ひたたくような当たりがあり、釣り糸がギューンと唸る。少しは岸に寄せてきたかと思っていると、パーンという音とともに釣り竿が折れて、大きな鱒は毛鉤とともに深み消えた。何とか応急処置をして、今度は慎重に毛鉤を水面近くに漂わせる。しばらくの静寂の後、突然波紋が出来たかと思うと鱒が毛鉤を追ってジャンプをした。そして、フィッシュオン！まるで釣り漫画の一場面のようなものである。ゆっくりと岸に寄せ、最後は手掴みでゲット。40cm程のニジマスだった。鱒の先まで美しい。そうこうする内に船も着き、対岸の平の小屋へ泊まる。ニジマスの調理をお願いするが、断られる。仕方がないので、2枚に開き小屋前で塩焼きに。誰かの本に「釣り人と話すときには両手を縛れ」とあつたような。逃がした魚はデカイ。

23日6:10発。10:00放水中の黒部ダムには虹がかかっている。10:35のトローリーバスで扇沢へ。大町温泉薬師の湯で垢を落とし、ひたすら神戸へ

立派な森に包まれた沢登りとイワナ釣り。快晴の中、北アルプスど真ん中、赤牛岳からの大展望。しんどか

ったけれど、とても変化に富んだすばらしい山行でした。特に、稜線まで抜けられるかどうか分からないまま入り込み、何とかルートを見つけ出すことが出来た水晶岳東面カールの雄大な空間は忘れられない光景となりました。

今回もお付き合い頂き、大量のウイスキーを持ち上げてくださった大森さんに感謝。



劔岳登山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2015年9月25日(金)14時54分22秒

9/11(金)～12(土)で会社の同僚5人と劔岳(室堂⇔別山尾根)に登ってきました。初日は雨の入山でした。雨の中を半日も歩いたのは数十年ぶりでした。参りました。翌日は快晴の中、劔岳の頂上へ。頂上は4年前の5月以来です。福永さん・藪内さん・今井に黙禱をしました。

久しぶりの劔岳でしたが、ほとんどの登山者がヘルメット着用でした。被っていないのは我々だけでした。以前は、皆無でしたが…。御嶽の火山の影響でしょうか。

今回は、トレーニング不足でハードでした。回復するのに1週間ほどかかりました。歳ですね。

総会、楽しみにしています。嫁さんと出席します。よろしくお願いいたします。

黒部の東沢

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年9月23日(水)20時49分13秒

1日目・とくに記憶なし、2日目・メンデルスゾーンのバイオリン協奏曲、3日目・映画の寅さんの主題歌、4日目・私の城下町、5日目・くるみ割り人形。山を登っていてバテると頭の中をぐるぐる回るのがありませんか。今回の私の頭の中をぐるぐる履歴です。今回もバテました。なんでこんなのが出てくるのかと思いますけど。

山へは19日から23日まで、黒部の上の廊下ではない方の源流、東沢にリーダー山本と行ってきました。北アルプス、一つは剣から、一つは白馬を通過して稜線が南に伸びて三俣蓮華あたりで合流して槍の方に伸びています。今回行ったのは三俣蓮華の北の方、いわば北アルプスのど真ん中といえる黒部の東沢と赤牛岳です。

東沢は学生の時行って2回目、赤牛は今回が初めてでした。印象に残るいいところでした。東沢の水もきれいだったし、赤牛からのパノラマも絶景でした。全日晴天。どこを向いても、あそこ登った・あそこ歩いた・あそこ滑った。思い出がいっぱい出てくるいいところでした。でも、しんどくてもう二度と行かないだろうリストにまたひとつ山が増えました。

詳しいことはリーダー山本の書き込みを。

写真はリーダーと重複するかもしれませんが、二つ三つ。

リーダー山本がこのルートを選んだのは、今回休みが長くとれた、高校生の時に見た北アルプスのグラビアに魅せられた（赤牛からの写真だったと聞きました）、沢にはサカナがいる、というのが動機のようなものでした。





記念集会の余韻を楽しむ会

投稿者：安井 正 投稿日：2015年 9月 15日(火)10時 29分 17秒

10月10日の90周年集会の後、その余韻を楽しみませんか？

越田さん、平井さん、飯田さんが参加されます。

15時30分より 三宮の店にて（人数が決まってから店を決めます）

参加希望の方は9月30日までに掲示板なりメールでお知らせ下さい。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2015年 9月 13日(日)23時 12分 21秒

返事が遅れて申し訳ありません。参加させていただきます。明日、参加の返信ハガキを投函します。

記念式典 参加者 お詫びと訂正

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年 9月 13日(日)18時 21分 10秒

事務担当より

本日の追加者に38年卒 飯田 進さんを忘れておりました。僕の勝手でした。
飯田さん誠に申し訳ありませんでした。

現在 同伴者を含めて57名となりました。

90周年記念式典 参加者

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年9月13日(日)07時37分32秒

事務担当より

先日の参加者から下記の方々その後増えましたのでお知らせいたします。

福井 實【旧制】・伊藤長次郎【旧制】・越田 和男・二谷 和成・塩崎 将美・村田 信一・山本 恵昭
(同伴者)・大村 謙治【新高】・佐野 方則【新高】(同伴者)・瀧原 順 以上同伴者を含め12名の追加です。

今からでもまだ間に合います。参加を希望されう方は至急 返信葉書を送付していただくか、掲示板・メールにてお知らせください。【同伴者がある場合はフルネームでお願いいたします】

平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年9月10日(木)08時52分7秒

以前、お知らせしていました平生会を予定通り、9月12日土曜日の15時より平生会館6号室で開催いたします。90周年式典の最終的打ち合わせが主な議題として開催いたしますので、ご都合のつくかたは、お集まり下さい。

事務担当より 90周年記念式典

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年9月1日(火)19時40分2秒

8月31日現在の式典・懇親会の参加予定者を下記の通りお知らせいたします。

砂川 彰雄・木全 実・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田辺 潤・伊丹 弘忠・田中 孜・廣瀬 健三・藤安 賢一・牧野 宏・福田 信三・武田 雄三・安井 正 (同伴者)・伊丹 徳行・柏 敏明・八島 弘明・浪川 純吉・上本 武夫・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・赤田 正和・井上 知三 (同伴者)・平井 幹男 (同伴者)・高橋 けい子・西村 清 (同伴者)・渋谷 一正・大柳 香代子・松下 哲夫・大森 雅宏・鳥井 陽子・要 裕晶・川野 幸彦 (同伴者)・八木 健・池内 友宏・谷 勇輝 (同伴者)・北方 龍一・坂田 茂樹 以上同伴者を含めて44名

9月10日の締切まで学年同士・先輩・後輩に連絡を取り合ってくださいたくさんの方の参加をお待ちしております。

懇親会追記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年8月30日(日)07時28分43秒

ビールを飲みながら、同年生まれのk会員と、さる五月のJAC関西支部創立80周年時の記念登山中の出来事を振り返りながら、歓談しました。おた福山から六甲山最高峰に上がる、途中で大きなイノシシに遭遇しました。いきなり突進してきて、女子会員のザックをくわえ、谷間に消えました。""貴重品がザックに入ってる。""と悲鳴に近い叫び、とっさにK氏が猛追。彼の絶叫やら聞こえてきました。血まみれで、倒れたかと思いきや、しばらくして、ザックを抱えて帰ってこられ、一同一安心。：ザックドロ しし追いかけて 虎吠える。：ど駄句を彼にMAILしていたところ、記念に色紙に書き残したと云っておられました。(彼と小生は同じ寅年生まれの後期高齢者)

K2 ;JAC 懇親会より

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年8月29日(土)07時36分53秒

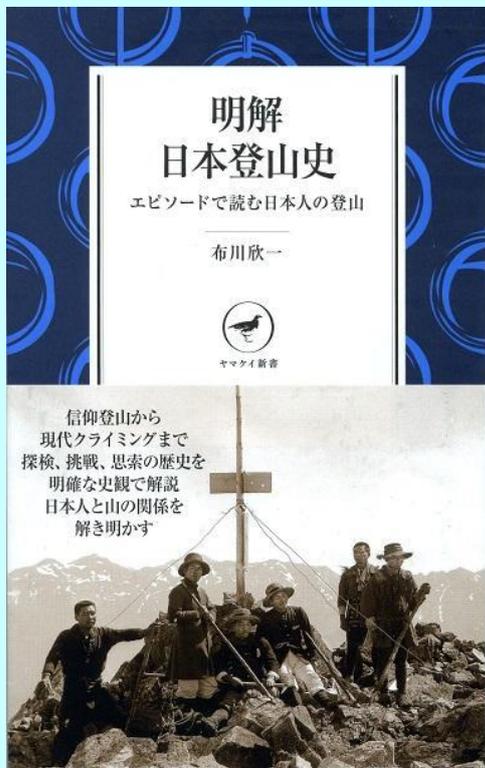
去る八月26日のこの会は良かった。重廣恒夫／平林克敏氏のスピーチや1977年の日本隊のK2第二登の詳細な記録には驚きました。重廣氏によると、登頂アタックは凄いラッセルに悩まされたと。(腰まで時に首まで) 四年前の当該集いで松浦輝夫氏のそれも印象深いです。この早大隊のバックボーンは”(ALL FOR ONE、ONE FOR ALL)のラグビー精神だったとか。平林氏曰く”K2はイタリが、エベレストは英国が、カンチエはドイツが、アンナプルナはフランスが、マナスルは日本が、それぞれ国の威信をかけて登山隊を送り出した。”と。マナスル遠征に国の威信がかかっていたかは、少し気に成りますが。因みに重廣氏は1973年から1995年まで、12回ヒマラヤ遠征に参加されてるようです。

お勧めの登山史本

投稿者：越田和男 投稿日：2015年8月23日(日)16時22分39秒

布川欣一著 『明解日本登山史』—エピソードで読む日本人の登山—
ヤマケイ新書 2015年8月1日 定価 本体 880円

古いところはさらっと流しながらも的確な要約で、全体としてバランスよく、これまでは山好きながらも登山史にあまり関心のなかった諸氏にも読みやすく出来上がっています。高度成長期以降の新たな登攀スタイルの現状もよくわかり、巻末の登山史年表も参考になります。廉価な新書版ですので是非。



写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2015年8月22日(土)11時53分1秒

山本恵昭君から笠谷の写真が送られてきました。

アルバムにUPしました。

Re: 笠谷から笠が岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年8月17日(月)22時19分29秒

越田和男さんへのお返事です。

笠谷、今回たまたま誰にも会いませんでしたが、ネットで検索するとそこそこ人が入っているようです。

写真が整理できたら、塩崎さんをお願いしてアルバムに載せて頂こうと思っています。

ちなみに、あの辺りはクマの巣とのことでした。

私も2日目の朝、いかにも出したという糞を見つけました。

雨と川水で濡れて自分が獣のような臭いを撒き散らしていたためか、幸い作成者には出会いませんでした。

一般登山道に出てからは、他の清潔な登山者の方にご迷惑だったかも。

五山送り火

今年で娘の京都下宿生活が最後になる予定なので、昨夜、下宿のベランダから五山送り火の大文字を鑑賞してきました。

点火前に、大の字の横あたりで明かりが動いていました。

それを見て、以前カンさんや芦田さんにご案内いただいて、東山ハイクの後に大文字山から五山送り火を楽しんだことを思い出しました。

あの時は、すぐ横の大の一部と妙法・鳥居・船形・左大文字と全部が綺麗に見えました。
娘によると全部が見えるポイントはなかなか無いとのこと。
抜群のポイントへご案内いただいたことが、今になって良く分かりました。有難うございました。

Re: 笠谷から笠が岳

投稿者：越田和男 投稿日：2015年8月17日(月)10時17分15秒

山本 恵昭さんへのお返事です。

なかなか渋い山歩きをやってますね。笠の西面に笠谷という沢が入っているのは気になってましたが、多分手に負えないだろうと、足を運ぶ機会もなく忘れていました。昔からこの辺は（百年の歴史のある）飛騨山岳会の人達のプレイグラウンドだったような気がします。いい記録だと思います。簡単な概念図など付けて、HPの「山行記録」に掲載されては如何でしょうか。

平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年8月13日(木)10時36分31秒

どうやら暑さのピークも過ぎつつあるようですが、夏バテせずに頑張っておられる事と思います。さて平生会を9月12日土曜日の15時より平生会館6号室で開催いたします。

その頃には90周年式典の参加人数もほぼ確定するとおもわれますので、最終的な打ち合わせ等を行いたいと思いますので、是非ご参加ください。

しかしながら、8月12日現在、参加の返事をいただいている方は16名です。

未だ返事を出されていない方は早めの返信をお願いすると共に、周りにも声掛けをお願いします。

笠谷から笠が岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年8月10日(月)23時00分56秒

夏の沢登りにいつものメンバーとは日程が合わず、結局単独で笠谷経由、今まで行く機会のなかった笠が岳へ行ってみました。

8月7日朝、新穂高に7時前に着くと、もうすでに駐車場は満車状態。何とか隙間に止めて、積んできた自転車で笠谷橋までひたすら下る7:30。自転車をデポし、準備を整えて8:10出発。2時間の林道歩きでヒアケ谷に到着、ここから先は林道とは言い難い廃道を藪漕ぎ1時間でやっと入渓ポイントへ11:30。沢装束に変身し、いざ出発と歩き始めると雷雨が、いや雷が降ってきた。しばらく岩陰で雨宿りするが、増水の気配はないので、「どうせ濡れるなら」と遡行続行する。最初の6.5m滝は豪快。大降りの雨で落ち口が良く見えない。左岸のルンゼを登った後、左上する泥壁は落ちると下まで真っ逆さまで一步が踏み出せない。もう少し上まで登ってみるが岩壁に行き詰る。戻ってロープを出してクリア。息つく暇もなく洞窟の滝6.5mが登場。水流の裏を通過、左岸のルンゼを登り最後はブッシュクライム。きれいな釜を持った2.5m滝は右岸を巻く。核心部を抜け、1480m二俣から少し上がってテント設営15:30。全身びしょ濡れ、濡れた流木を集める気力もなく焚火を諦め、テント内で着替えて早々に夕食をとりひたすら寝る。

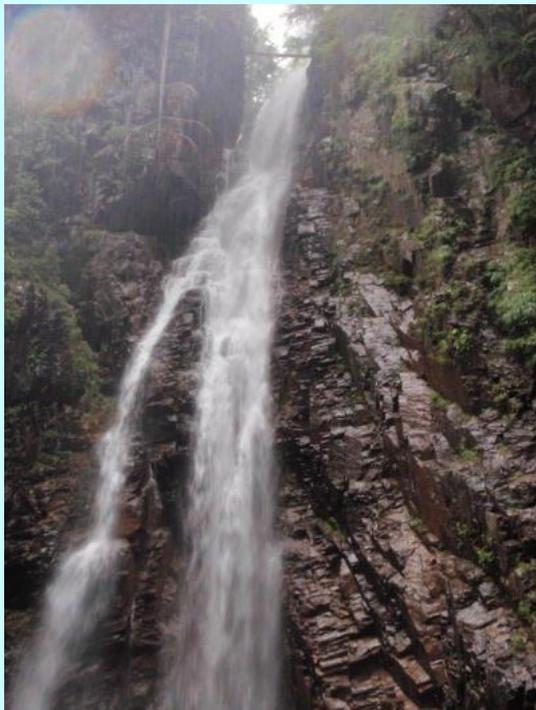
8日稜線で昨日のような雷雨に会うと致命的なので、早起きし寒いけれど濡れた衣装に着替えなおして5:40出発。しばし川原歩きの後、右岸から滑滝が合流する10m滝は右岸から高巻き。この辺からずいぶん明るく開けた雰囲気となる。昨日ここまで上がって、テントを張れば良かった。ここから先は、手ごろな小

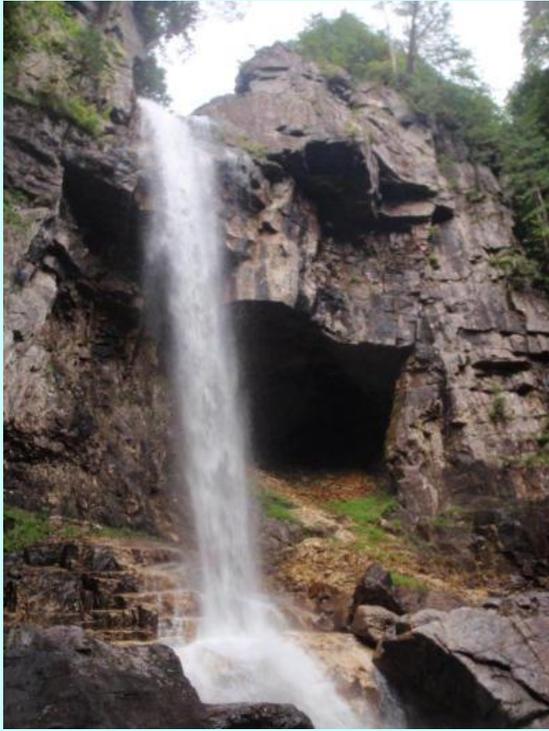
滝を楽しみながら、2000m二俣へ 8 : 30。多くのパーティは左俣に入って南西尾根に突き上げているようだが、クリア尾根の登山道に出るほうが時間的に早そうなので、水を確保して涸れた右俣を詰める。雷鳥岩からのコルに出るつもりだったが、藪漕ぎを避けて左に曲がった沢沿いに進む。すぐに水流が復活し大いに助かる。所々滝が現れるがニッコリホールドが豊富で源流部を快適に登り、まったく藪漕ぎせずに登山道へ合流 11 : 20。ルート選択はバッチリ正解だった。ガスに覆われた笠が岳山頂 12 : 10。笠が岳山荘で焼酎と日本酒「菊水」を購入し、テント場へ 12 : 30。石囲いに囲まれた平坦な場所にテント設営。テント前の岩に濡れたものを干しながらチビリチビリやっていると、続々と登山者がやって来る。こんな斜面にテントを張るかというくらい満員となった。

9日テント内から白んでいく夜空を鑑賞し、小檜横からの御来光を拝む。のんびり朝食をとり、小屋まで登り返してトイレを済ます。6 : 40 出発し、抜戸岳 7 : 30。笠新道をひたすら下り登山口 11 : 10。林道 1 時間で新穂高到着 12 : 10。

栃尾の荒神の湯を、独り占めで汗を流す。駐車場で地図を見ていた軽四キャンピングカーのおじいさん。軽四ワンボックスを改造し、7月に横浜を出てからいろいろな山を巡っているそう。赤牛まで行って笠へ回る予定で計画中とのこと、いろいろな楽しみ方があるんだなと関心。笠谷橋で自転車回収。以前田辺さんや武田さんたちと沢上谷沢登りの折に軒先をお借りした物産直売所でミニトマトを購入。野菜に飢えていたのでその場で食べていると、おばさんが「もう最後だから食べて行き」と大きなトマトや塩を出して頂きました。感謝！そのままでは悪いので、なんか他に買うもの無いかと物色しているとメグスリノキの葉を発見し購入。名前は聞いたことがありましたが、実際に見るのは始めて。お茶にして飲むと眼と肝臓に良いそうです。肝臓病の人が焼酎をこのお茶でわって飲んでると治ったとか。今井…。高山で昼食兼夕食を食べて、夜に神戸着。

笠谷は誰にも会わない静かな谷でした。あまりに人の痕跡が無いので、青いビニール袋の切れ端ゴミを見つけたときには、なぜかほっとしました。自分って弱いなー。





道場

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年8月4日(火)06時22分51秒

甲南中学三年生だった塩田エンタが“道場山祭り”と題して作文してます。参加者の中には平井弟とか上島（UCCコーヒの上島会長）が居ます。平井仙吉の弟は“まきを取りに行って、けがして、五針治療”と注記有り。参加者の名前に小生も出てるが、この時の山祭り、全く覚えておらず。その前年？の鈴鹿での山祭りは鮮明に覚えてますが。

道場

投稿者：平井吉夫 投稿日：2015年8月3日(月)21時28分21秒

道場か。懐かしいな。河原のキャンプが快適で、あそこで山祭を催したこともあります。岩登りは、百丈も含めて岩壁のあちこちに灌木が生えていて、ついそれに頼ってしまい、ロックガーデンや穂高の岩登りのスリルとは全く違っていたのを覚えています。

懐かしい道場

投稿者：越田和男 投稿日：2015年8月1日(土)23時46分27秒

懐かしいですね。道場には岩登りのほかに魚釣りにもよく出かけました。昭和30年代で、福知山線はまだSLの時代でした。不動岩の上からの武庫川と福知山線の眺めは私も好きでした。

道場駅も、いかにも田舎の駅の風情があったのですが、今の駅舎にはガッカリです。富士チタンの工場は、当時は栃木化学で、武庫川の汚染の源のように言われてました。

百丈岩へ行く橋の上流で、藤安イーチャンと何度か毛バリの流し釣りを楽しみました。橋のたもとの茶店（雑貨屋兼食堂）で、炬燵に上がり込んで、列車の時間待ちをさせてもらいましたが、あの茶店はどうなりましたかね。

今井とも通った岩場

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年8月1日(土)21時28分57秒

今日は用事があって三田に出かけていたのですが、三田と言えば道場の不動岩、夏山合宿前によく通ったゲレンデです。思い出して少し寄り道。デジカメが手元にあったので何枚か撮影。写真を添付します。今井とも登ったルートがあります。

1枚目 岩場の遠望。

高度感はありましたが岩がもろくて、変則的。全体の印象はあまり快適とは思いませんでした。でも終了点から武庫川と福知山線の線路が見えて、この点は気に入っていました。

2枚目 今の道場駅。

イナカの駅のくせに鉄筋コンクリート造りになっています。記憶にある駅舎は木造瓦葺。無人駅で乗車票が改札口においてありました。駅前のパン屋さんと富士チタンの工場はまだあります。

3枚目 今は駐車場と駐輪場。

当時はこのあたりに、日通の荷捌き場の名残の建造物がありました。コンクリの床と柱と屋根だけ。昭和50年前後は使用していなかった様子で、夕暮れを待って私たちはシートを広げさせてもらいました。

シュラフかシュラフカバーでござら、周りに蚊取り線香を並べて就寝。翌日は早朝から不動に取り付きました。



今井啓介君のこと

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年7月31日(金)19時41分24秒

今井啓介君が亡くなりました。もうずいぶんの付き合いでした。

最後の勤務地となった上野の東京営業部に異動になった2年前の春、彼が電話をかけてきて「異動を見てくださいか」。「何でアタの異動がワタンにわかるんや」と尋ねると「上場企業の部長級以上は新聞に出ますがな」と。そうかご栄転は何より、うれしいのを誰かに伝えたかったのか。独身の彼は、奥さんに言えないも

のな。家で話す相手がない彼は、それまでもちょっと楽しかったりちょっとへこんだりしたら電話をかけてきて、2・30分話し相手をしていたのが私やら彼の同期の川野や山本でした。

最後に会ったのは去年の9月。仕事がらみの上京時に勤務先の新明和工業を訪ねた時のこと。以前から患っていた肝疾患が悪化して、会社から、仕事は代理に任せて療養に専念しろと言われた頃です。ずっと仕事一筋で来たのに、生きがいを取り上げられたら何をしたいかわからないと言っていました。

亡くなったという知らせを聞いて、山本と朝一番の新幹線で品川へ向かい五反田の斎場へ、知らせてくれた川野と現地で合流して最期の別れをしました。

覚悟していたより病やつれの無い顔で、目元も口元もああ今井の顔やと手を合わせることができたのがせめての救いでしたが、残念でつらい別れでした。

苗場山に行ってきました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2015年7月30日(木)18時34分14秒

苗場山(2145m)に登ってきました。日本最高積雪地点(7,85m)で有名な飯山線森宮野原駅で、25日2時過ぎに東京組と大阪組が合流、車で秋山郷切明温泉雄川閣へ、岩魚の骨酒で久しぶりの出会いが大いに盛り上がりました。

26日、車で登山口の3合目小赤沢駐車場迄行き、8時20分出発、鎖場などもあり、結構、厳しい登山道を4ピッチ。12時に頂上着。小生は何時も通り20分遅れで無事到着。昼食後、東京組は神楽ヶ峰經由和田小屋へ、タクシーで越後湯沢へ出て帰京。大阪組は元のコースを辿って、結束温泉かたくりの宿へ。ここは小学校を改造したコジャレた女性に人気がありそうな宿でした。

翌27日は烏甲山の予定でしたが、苗場山で体力を消耗しつくし断念。飯山で有名なうなぎ屋「本多」で、少し辛めのタレのうなぎを平らげ、やっと元気回復。後は、野沢のロープウェイに乗って山頂へ、木陰のハンモックで涼んで懐かしの中屋敷へ。量を少なくと言うのを忘れたため、例によって沢山の料理の数。残すのは申し訳ないと必死に挑戦するも、食べきれず。体力も、食欲も落ちたなあ実感しました。

苗場山の山頂は原生林に囲まれた広大な高層湿原。多くの池塘があり、木道も完備しており、高山植物を楽しむ事が出来ました。小さいながらも雪渓も残っており、スキーと重なる苗場山の印象とは違った素晴らしい山でした。

参加の皆さんにはお世話になり、有り難うございました。参加者は写真からご推察下さい。



クラゲの写真

投稿者：飯田進 投稿日：2015年7月20日(月)17時07分46秒

バブサンの写真展にクラゲの写真が展示されました。鶴岡の加茂水族館での写真です。加茂水族館は依然閉館の危機に見舞われましたが、館長の辛苦多々研鑽努力の結果、クラゲの生育に成功、立派なクラゲ館が出来上がりました。パラオで採取して生育したクラゲもはっています。

尚、バブサンの寫眞集の内、カイコの寫眞が、岡谷の蚕糸博物館に展示されています。10月ごろまでやっているそうです。岡谷方面に行かれたら寄ってみては。岡谷インターすぐ。駐車場完備。

こんな本「ウェストンと歩く日本アルプス」

投稿者：越田和男 投稿日：2015年7月20日(月)16時50分13秒

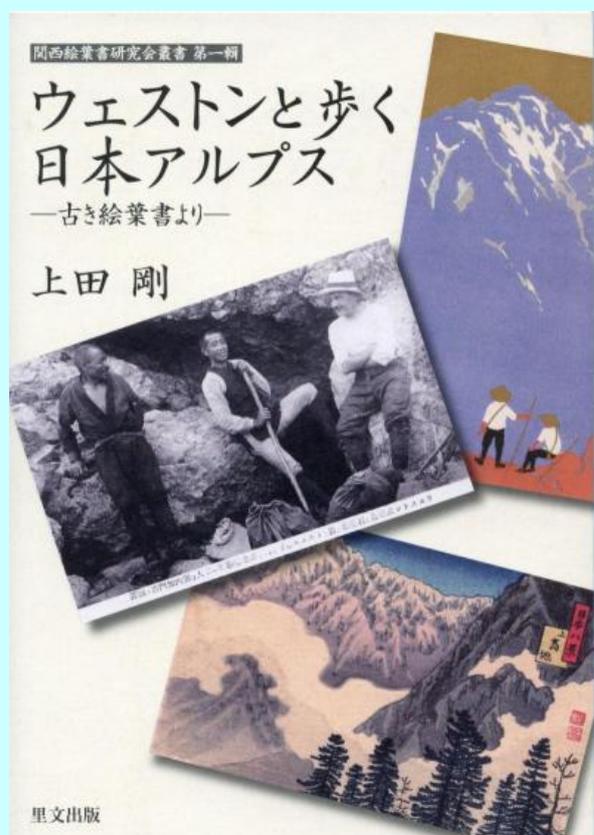
上田剛著『ウェストンと歩く日本アルプス』—古き絵葉書より—

関西絵葉書研究会叢書第一輯

里文出版 2015.3.7. ¥2,000-

特にウェストンのファンでもないが、先日JACの図書室に寄贈されて来たので、手に取って眺めた。明治後期から大正、昭和初期にかけての山の絵葉書がドット満載されており、結局買って手元に置きたくなった。明治から大正にかけてのウェストンの足跡を古い絵葉書で辿ろうというもので、誤記がいくつか散見され気にはなかったが、今や過去のものとなった絵葉書文化を通して、日本の山と山麓の原風景が実に懐かしく、楽しめた。

序文を甲南大学文学部教授の中島俊郎さんが書いておられる。何のご専門か存じ上げないが、山にもお詳しいようなので、現役の大学山岳部員が居れば是非研究室を訪ねるよう勧めたいところだが……。



名簿

投稿者：川野幸彦 投稿日：2015年7月8日(水)15時46分23秒

お世話になります。

井上さん、早速、名簿をお送りくださり、ありがとうございました。

関東の若手には近日中に連絡します。

今後ともよろしく願いいたします。

西宮回生病院

投稿者：おーもり 投稿日：2015年7月4日(土)05時15分28秒

建て替え前の見学会の案内ページです。

http://www.kaiseihp.jp/pdf/kaisei_tirashi.pdf

甲南 A C キットワールヒマラヤエクスペディション

は、甲南 A C キットワールヒマラヤズエクスペディションの誤り、「キットワール」で「ル」が、「ヒマラヤ」に「S」が抜けていました。

藪内君が鹿島で亡くなったのは昭和 60 年のことでした。61 年は記憶違い。

ほかの方にはどうでも良さそうですが、まあ気がついたので訂正します。

西宮回生病院

投稿者：おーもり 投稿日：2015年7月3日(金)22時41分20秒

スイスに平泉にスロベニアに、世界と日本の話題、広く続いています但那次。ローカルで。

阪神沿線西宮の話題です。

今頃 60 前後のメンバーには懐かしい西宮回生病院。

今は亡き菊池先生の当直の日に、「おーい来いよ」と連絡載いてホイホイ行ってたメンバーは結構多いのでは。

私は、よくお誘いいただきました。

菊池先生は横山さんの御縁で、K K H E 1977（甲南 A C キットワールヒマラヤエクスペディション 1977・英語打つより早いので）の随行ドクターでした。

御専門は内科でした。「先生、外傷の対応はできるんですか」ってお尋ねしたら、「できることはするから心配するな、素人よりは上手いわい」と、心強いような心細いような。

芦屋の雨宮邸の打ち合わせには、当時のニッサンシルビアで颯爽とおいでになりました。

1977、現地の写真はベースでジャガイモ剥きのお姿。後のことですが、E S S E N 不足でこれが何よりつらかったとスナックのスツールに座ってよくうかがいました。

続く 1979 の時は「いやーほかにもツテがないわけではないのですが」と見栄と遠慮を混ぜて寄せてもらうと、「無理すんな、助けたる」と抗生剤・利尿剤・鎮痛剤いろいろ医薬品の御援助をいただきました。幸いほとんど使用せずに残った薬品、ボルタレンはその後 10 年くらい、ボラミンは使い切るまで、わたくし活用いたしました。日本の医薬品は保存状態が良かったら、いつまでも効く、を実感しました。

その後も現役への御援助を頂きました。

昭和 61 年正月、鹿島に逝った藪内君関連のことです。

昭和 58・9 頃に伺った回生病院の駐車場にヤマハの X T 650。

「先生あれ何です」。「いやー、この前アタんとこの藪内と飲んどってな、バイクもエエなど」。

藪内君は 16 で 2 輪の免許を取って、その後も 2 輪を愛好。先生は 650cc を、その藪内君と飲み屋の話し弾んで、衝動買いされたとか。

まあストレスの多いお仕事ですし、このくらいはお小遣いの範囲ですかね。でもね、その次に「先生遊びに伺ってよろしいですか」「おー来いよ」の時は駐車場の奥にベントレーが見えましたが、あれも衝動買いですか。

今、菊池先生がおいでになったら、お話の幅が広くて、私らの心の肥料になることがきっと多いだろうなと思います。

けど、まあそれも思うようにはなりません。

先生次にお目にかかったら、また楽しい話、しましょ。

で、今日こんな事を書いたのは、あの西宮回生病院が改修のため昔の入口がなくなります、のお知らせです。

何年か前から大きな医療法人に吸収されておられたようですが、地域の医療に貢献されるのは菊池先生の御遺志と思います。間に合う方はあす現地をお尋ねください。

くどくど書きますと。

以前の 1 月 15 日は、先生の関係される水泳団体の寒稽古でした。

ちびすけもお譲ちゃんもあんちゃんも、泳いだ後で焚き火にあたっているとき、あんちゃん集団でいさかい。

先生、どうします。ほっとき。こんな寒いときにムリして泳いでんねん、いろいろあるワ。

青の洞窟

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015 年 7 月 3 日(金)04 時 08 分 29 秒

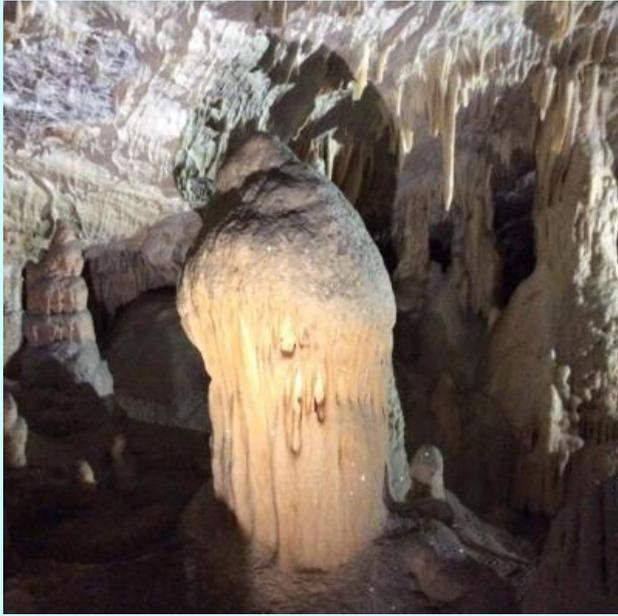
現地発ツアーに参加して青の洞窟と緑の洞窟に入ってきました



クローチア

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年7月1日(水)12時46分58秒

スロヴェニアを訪れた後プリトヴィツェ湖群国立公園に居ます。
今日から海へ、アドリブ海を走ります。



写真

投稿者：飯田進 投稿日：2015年7月1日(水)09時59分57秒

象潟海岸と鶴岡、加茂水族館のクラゲ



平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年7月1日(水)08時59分31秒

さて、月も変わり夏山の季節。

会員の皆様もなつやまの計画を立てていらっしゃると思いますが、今日は再度、平生会のお知らせです。

7月4日(土曜日)15時より6号室で開催いたします。

どうか沢山、お集まりください。

(無題)

投稿者：飯田進 投稿日：2015年7月1日(水)06時05分53秒

写真掲載乱れて申し訳ありません。パソコンの調子が悪いもので。

下の林は中尊寺境内。

山姥は立石寺の石段を540段登ったところにある御堂に祭られたもの。

海辺の写真は瑞巖寺前の景色。

いずれも、写真家米山悦郎様のご提供です。

奥の細道

投稿者：飯田進 投稿日：2015年6月30日(火)17時07分41秒

先般バブサンと二人で奥の細道を中尊寺、松島 立石寺 象潟 酒田 鶴岡 村上 と旅してきました。早朝6時に発って、湾岸、首都高、常磐道と走りました。福島に入ると妙な看板が出てきました。2μs v、どうやら放射能の数量らしい。ちよこちよこと出ています。気を付けて早く立ち去れ、との警告らしい。スピードを上げて通過する。おかげさまで一閃に早く着いた。中尊寺はすぐ近くである。中尊寺は藤原の栄華、義経の最後といろいろと言われがあるが、来てみればここは芭蕉一色、というところ。芭蕉芭蕉である。光堂はコンクリートの建物の中に、嚴重に保管されていて、見たければ800円払え、ときた。五月雨が降り残そうだが、残さまいが、ひかり堂は永久に不滅であります。そこそこ見物して、松島へ。途中今夜の宿、ビジネスホテルへチェックしに寄る。松島と石巻の中間、鄙びた矢本という駅近くにあり、やけに広い駐車場とザビジネスホテル、といった感じの二階建てのホテルで、小さな窓がずつらと並んでいた。チェックの後松島へ。車で旅するのに、詳細な道路地図を持たず、ドライブインの無料高層道路図のみでは、カーナビが唯一の頼り。ところがこのカーナビ時々謀反を起こるので、あんまり頼りにならない。

なんか山の中をずーっと走っている。あー松島や松島や、どこまで行っても山の中。少し不安になったころ、海が見えた。着いたところが、瑞巖寺。前の遊覧船船着き場から、こくと松島湾を眺める。樹木に覆われたみ緑濃い島々が、紺碧の海に浮いている。松島や、鶴などいらぬ、美しさ。さすが松島。日も暮れてきたので、宿に帰る。

ホテルに帰って驚いた。だだっ広い駐車場が満タンになっていた。宮城、栃木、千葉、相模原、はては大分のナンバーまで。作業着を着た方々がてんでにビニール袋を下げて、ホテルに入っていく。うわさに聞いた、仙台は出稼ぎで賑わっている、は本当だった。次は立石寺。

東北道、山形道と走って、山寺立石寺へ。巨岩が露出した急峻な山腹に1100段の階段がついており。100段登ってお堂、200段登ってまたお堂。そして1100段登って本尊に出会えるようになっていた。まったく草臥れるお寺である。立石寺には蝉は鳴いてなかった。蝉は小生の耳の中で鳴いていた。耳鳴りが治らないので困っています。

ここから象潟へ。象潟は芭蕉が訪ねた時から、名所の海岸線は隆起によって変わってしまって、日本海の何処にでもある海岸線になっていた。象潟からは海岸線を通して酒田、鶴岡へ。鶴岡では クラゲ の水族館を見物。よくこれだけ、と思われるくらい、沢山のクラゲが泳いでいた。数ミリから触角を伸ばしたら、2, 3mはあろうクラゲまで。バブサンは夢中になって撮っていた。鶴岡に行かれたら是非にも寄られたし。この日鶴岡に泊まる。鶴岡ワシントンホテル。駅の真ん前。夕食は表。適当に店を選んで、食べたのは、イワガキ、鰯の塩焼き、子エビのフライとイトセトラ。立石寺の階段がふくらはぎを直撃。夜はよく眠れました。

ここからさき村上で、天井から千匹の鮭が吊るされ、一年かけて熟成される、名物塩鮭をお土産に買って、柏崎のはずれのはずれ、角出村の紙漉の名人宅に。この日わらぶきの宿に泊まる。早朝6時出立。東京へ。

ああしんどかった。

？



奥の細道

投稿者：飯田進 投稿日：2015年6月30日(火)16時02分15秒

試験



Re: エーデルワイス

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月27日(土)05時22分40秒

> [No.2202\[元記事へ\]](#)

越田和男さんへのお返事です。

越田様、申し訳ありませんありませんが最後の一言です。

エギーユ・デュ・ミディに上って来ました。悪天候を嘆いた事が嘘のような好天続きです。さすがに半袖では耐えられませんでした。ダウン一枚は羽織っただけで事足りました。清く正しい者には神さんが答えてくれるでしょう。

モンブラン。グランドジョラス北壁。ドリユー(シャモニーから)。





エギーユ・デュ・ミディより

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月27日(土)05時00分59秒

私が若ければトライしたいと羨ましく眺めました

斜面を登る小さな点はモンブラン登っている登山者です。双眼鏡で見ると結構登ってましたがこれより上はカメラで撮らえられませんでした。



Re: エーデルワイス

投稿者：越田和男 投稿日：2015年6月26日(金)20時53分45秒

> [No.2201\[元記事へ\]](#)

塩崎将美さんへのお返事です。

前半は雨ばかりで同情してましたが、後半はバッチリの空模様で羨望（嫉妬かも）の至り。
後は、スイスのシャスラー種の白ワインを是非現地で楽しんで下さい。

エーデルワイス

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月24日(水)23時09分50秒

ロートホルンへ上がるつもりが最後のゴンドラがまだ運休中(勉強不足)、仕方なくブラウヘルトからスネガまで3時間かけてゆっくり歩きました。エーデルワイスの群生を二箇所見つけ感動。マーモットはゴンドラの中から1匹、途中で2匹見つけました。

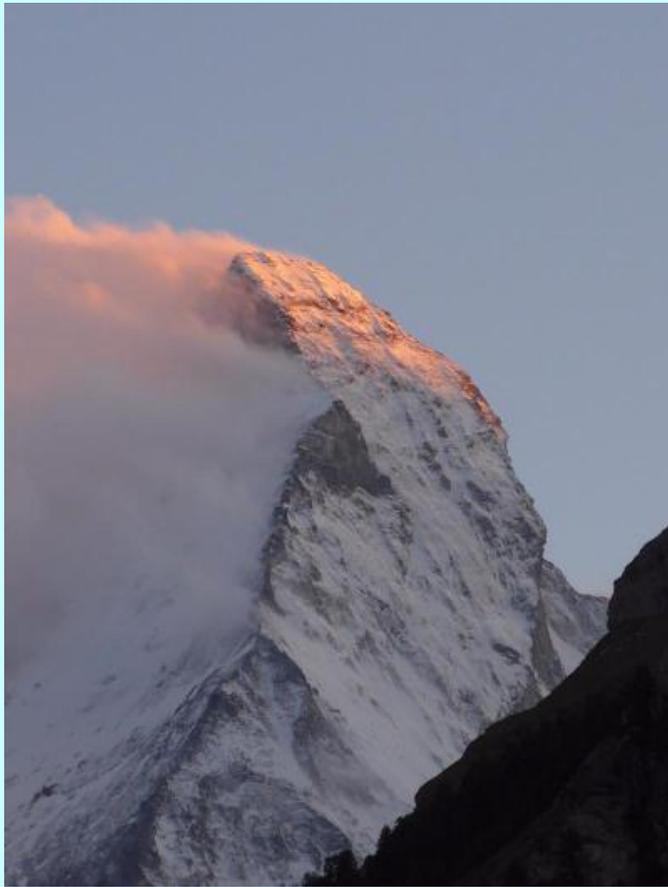




夕焼け

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月24日(水)04時40分35秒

只今夜の8時半、ベランダで山を見ながらウイスキー飲んでます



スキー

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月23日(火)00時42分38秒

夏でも滑ってます。嫁さん一緒じゃなかったら見える範囲傾斜もきつくなさそうでしたから私も滑ったかも？





360度の展望

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月23日(火)00時24分29秒

マッターホルン・グレッシャー・パラダイスに上がってきました。快晴無風、シーズンにそう何度も無い様な天気でした。昨日見えなかったモンテローザ、スイス領の最高峰ドーム、勿論マッターホルン、東に見えるモンテローザの左奥の山はイタリアの山？北にはユングフラウ/メンヒ、時間を忘れて眺めてきました。昨日は震えましたが今日はダウンを着なくても寒くありませんでした。帰りはロープウェイから1時間半のハイキングを楽しみました。





朝焼け

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月22日(月)13時38分18秒

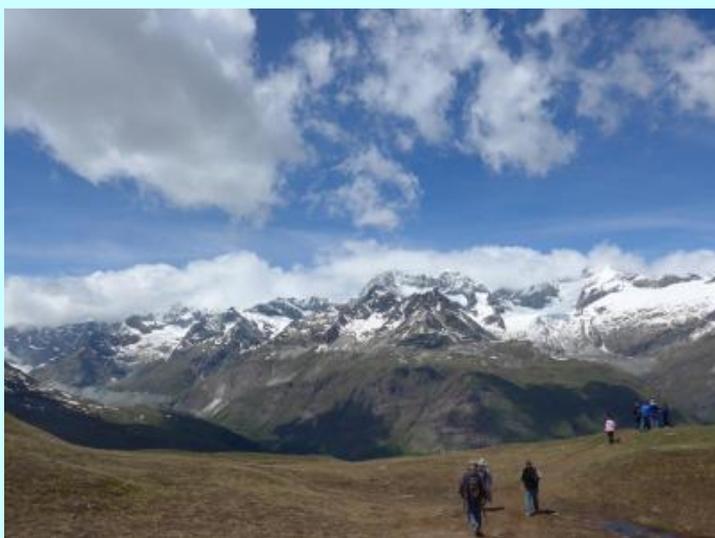
掲示板に書き込みしていると朝焼けが始まりました。ベランダで見とれました。北の外れの台所付きの安宿ですが拾い物でした。最後の一枚はベットから写した写真です。今日は快晴です。



Zermatt

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月22日(月)13時19分52秒

またまた小雨の降り出したインターレーケンを8時の汽車で逃げ出しツェルマットへ、10時過ぎにツェルマットに着くと太陽が出てます。駅で荷物を預けゴルナーグラート鉄道に飛び乗りました。モンテローザの頂上はガスってますがリスカムから西はバッチリ、真白いブライトホルンが美しい、足元の氷河も素晴らしい。肝心のマッターホルンは頂上見えませんでした。リッフェルベルクまで2時間かけてノンビリ下りました。頂上で写した写真はカメラの操作ミスで全滅、残念でしたが満足な1日でした。



晴れました

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月22日(月)00時20分13秒

宿のベランダから



Re: 天気悪し

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月21日(日)12時59分56秒

> [No.2193\[元記事へ\]](#)

越田和男さんへのお返事です。

ただいま朝の6時前、曇り、5時からLIVE映像見ますが山の上は何処もガスがかかってます。
今日は移動日です。

2000mのハイキング道に設置された回収箱、日本とは発想がちがってる様です。



Re: 天気悪し

投稿者：越田和男 投稿日：2015年6月21日(日)12時37分46秒

> [No.2192\[元記事へ\]](#)

塩崎将美さんへのお返事です。

天気に恵まれず残念ですが、私も旅先では、雨なら町へ行ったり、鉄道に乗ったりして、それはそれで楽しんでます。もっとも、NZ南島のアーサーズパスの山の宿では三連泊ずっと雨、その時はどうしようもなかったですけど。

ブリエンツ・ロートホルン鉄道は霧シヨンのなかでしたが良かったです。雨支度して半分を歩いて下りました。そんなアホなことしてたのは我々だけでしたけど。

旅の後半きつと晴れるでしょう。

天気悪し

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月20日(土)22時56分47秒

シルトホルンとフィルストのハイキングを計画してたのに連日雨です。しかたなく(嫁さんは喜んでましたが)昨日はBernの町歩きか今日はRothornへ蒸気機関車に乗りに行きました。頂上はミゾレで何も見えませんが、其れでもこの汽車はお勧めです。

なんとか天気良くなって欲しいと願っています。





ハイキング

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月19日(金)12時58分55秒

昨日はメンリッヒェンからクライネシャイデックまで2時間かけて歩きました。アイガー北壁を正面にメンヒ、ユングフラウを眺めながらのハイキングは最高に良かったです。天気良く、整備された道、咲き誇る花、出会う人もパラパラ、静かな歩きに満足しました。

歩いてた時にははっきり見えていた Top of Europ は高い金を払って上がったのに何も見えず、残念。



Re: スイス

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月19日(金)12時49分26秒

> [No.2189\[元記事へ\]](#)

越田和男さんへのお返事です。

当初は2連泊でベルニナ特急に乗り帰りに途中下車でハイキングを計画してたのですが余り欲張ってもと4連泊を2箇所にしエンガディン地方は諦めました。泊まった Samedan は今回のたびの一番の宿泊地になりそうな予感です。静かな鄙びた町観光客も少なく朝の散歩で石畳の坂を上り家並みを抜けるとハイジのせかいでした。

もう一つ

スイスで観光パノラマ列車に乗るより同じ路線を走る普通列車がオススメです。うるさい観光客もが居ませんし走る時間もほとんど変わりません、ただ乗り継ぎには時間がかかります。窓も開けられました。写真は Cher から Samedan まで乗った普通列車で撮りました。

追加

グリムゼル峠越えのポストバスも良かったです。



Re: スイス

投稿者：越田和男 投稿日：2015年6月18日(木)18時11分29秒

> [No.2187\[元記事へ\]](#)

塩崎将美さんへのお返事です。

今サンモリッツ近辺滞在中ですね。もうベルニナ線に乗りましたか。

ベルニナ線の最高所駅オスピツィオで下車して、次のアルプ・グリュエンまで歩いたことがあります。線路の東側の丘に登ってベルニナ山群、その麓の牛の群れ、湖（ラゴ・ビヤンゴ）沿いの路線を走る赤い列車を眺めた壮観を思い出しました。

平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年6月18日(木)10時28分47秒

90周年記念式典等について、平生会を開催したいと思います。

7月4日(土曜日)15時より平生会館6号室です。

御意見等お聞かせください。

出来るだけ多数の参加をお待ちしています。

Re: スイス

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月18日(木)04時43分46秒

> [No.2186\[元記事へ\]](#)

朝食の時、宿の女主人にきいたところ piz Paul という事でした。

スイス

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月17日(水)14時18分33秒

スイスにきてます。天気悪く山がなかなか顔を出してくれません。今初めて日が照り山がみれました。ベルニナ山？



Re: 部室があつて何より

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年6月16日(火)11時06分39秒

越田和男さんへのお返事です。

- > スキー部との共用であれ、休部扱いでも部室が確保されていることを嬉しく思います。大学当局または摂津会の配慮に感謝します。
- > 是非新入部員を迎え入れたいものです。もし本棚でもあれば多少の書籍は寄贈しても良いのですが。

平井会長様

大学当局に話して、共同部室内に本棚、机、椅子の搬入設置の許可を認めてもらってください。本棚等の費用は山岳会手持ち資金からの出金に会員の異議はないでしょう。越田君と同じく私も山岳図書、ガイドブックを寄贈いたします。なおミニ図書館の設置ができた時、部室ドア表に、このことを表示して閲覧自由の掲示が必要です。

部室があつて何より

投稿者：越田和男 投稿日：2015年6月15日(月)14時22分15秒

- スキー部との共用であれ、休部扱いでも部室が確保されていることを嬉しく思います。大学当局または摂津会の配慮に感謝します。
- 是非新入部員を迎え入れたいものです。もし本棚でもあれば多少の書籍は寄贈しても良いのですが。

甲南摂津会

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年6月14日(日)17時55分25秒

昨日(6/13) 平井会長の代理で甲南摂津会 幹事総会に参加して来ました。現在活動中の団体からは2名～3名の監督・コーチ・会長などの多数の参加者でした。休部団体はスキー部・山岳部です。

① 幹事総会

式次第による会長 水野 正人 様の挨拶から始まり、規約の改定・役員の改選他、報告事項では白川台キャンパス【現 海星女子学院 セミナーセンター】の開設・父母会の支援等

② TEAM KONAN SPORTS MEETING

学長他来賓の挨拶がありましたが、特に気になったのが学長の挨拶の中で体育会の学生の人数がここ数年増加傾向にあるとの事でした。(学内集計から)

③ 懇親会

興味のある話は乾杯の挨拶でフエツク部の KFC 会長の話でした。フエツク部も2004年に休部状態に陥りそれから苦難と努力の結果2011年?に再復活のお話をされた事です。

詳しくはお話になられませんでした。大学・体育会・甲南摂津会・フエツク部 OB・OGの4団体が話し合い、お互いの活動・働きかけが復活の源ですとの感謝のお言葉でした。

復活後も部員も順調に確保していますとの事です。羨ましい限りです。

④ 最後に大学に来たので昨年取り壊しの話の部室がどのような状況なのか足を運んだところ、少しびっくりしました。部室の場所は変わっていましたが、スキー部との共同部室となっておりました。



奥飛騨

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年6月12日(金)09時10分22秒

奥飛騨集会の帰り、白川郷に寄ってきました。添付写真は、たまたま中国人が居なくなった隙に撮ったものです。



今朝の天声人語

投稿者：越田和男 投稿日：2015年6月11日(木)21時06分39秒

わが先輩中井久夫さんの著作が取り上げられています。認知症関連です。ご一読お勧め。

奥飛騨

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年6月9日(火)06時42分30秒

今年も新緑の平湯温泉に15名が集まりました



あめ

投稿者：おーもり 投稿日：2015年6月7日(日)21時36分31秒

スズコキャンプ、ありがとうございました。

雨男、私の家では「お父さんが怪しい」ことになっています。

神戸は降らなかったそうです。くやしい。

今年は記念撮影を撮り忘れたので、調理実習風景を3枚。





雨のスズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年 6月 7日(日)19時01分24秒

> [No.2177\[元記事へ\]](#)

6月6日(土) 天気予報は晴れに変わったはずなのに、10時に大段が平につくと雨。平井さん、松下さん、大森さんとしばらく車の中で様子を見ていても、やはり雨。雨男は誰でしょう。

仕方が無いので、雨具を着て出発し、神戸大ヒュッテ周辺でスズコを採る。今年は太いものが多いような感じ。いつもどおり虫入りもそこそこ有り。1時間ほど薙徘徊して下山。林道で山椒の葉を収穫し、いつもの場所へ。

すでに武田さんが到着されている。みんなでスズコの皮むき。平井さんが鶏肉ニンニク炒めとスズコのスパゲッティを、武田さんがやまめの塩焼きを作ってください。そうこうする内、スズコもゆがけて、マヨネーズ和え、ワサビ醤油和え、山椒ポン酢和えと色々バリエーション。ミツバのおひたし、タラノメ・スズコの天婦羅。最後はスズコ味噌鍋。お酒を飲みながら、なぜか会話が議論調に。なんやかんやで、ワイワイと楽しく夜も更け、皆さん無

事にテントや車に入って就寝。

7日(日) 朝食に雑炊を食べて、解散。

ご参加の皆様、天候には恵まれませんでしたが、楽しく過ごさせていただきました。有難うございました。

スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年6月4日(木)23時58分15秒

> [No.2171\[元記事へ\]](#)

6月6日(土)7日(日)のスズコキャンプ。

結局、参加者は、平井さん、松下さん、大森さん、私、そして、夕方から武田さん。合計5人の予定です。土曜日は天気もうひとつのようですが、「ライバルが少ない」と前向きにとらえて、可能な範囲で楽しみたいと思います。

6月6日10時に大段が平駐車場に集合。スズコ採り後、いつもの場所で宴会予定。できれば、皮剥き用にナイフをお持ちください。

ウズベキスタン短訪

投稿者：越田和男 投稿日：2015年5月30日(土)18時02分46秒

この連休は米山バブさんをリーダーに一行4名で8日間ウズベキスタンへ行って来ました。バブさん撮影の写真が「米山悦朗写真集」にアップされましたのでご覧ください。成田から直行ノンストップのウズベキスタン航空の機窓はバブさんあまり興味なかったようですが、アルタイ山脈や天山山脈が望めて結構でした。右側の窓席がお勧めです。

サマルカンドの西方300Km程のところ、2000級のヌラタ山脈(東西200km位)というのがあり、この北麓の三つの谷に入り、それぞれの最奥の集落(アスラフ、センチャブ、ハイヤット)の民宿に泊まり、花や動物を追っかける、というのがメインテーマです。ポピーの群落は開花度がやや期待を下回ったとはいえ、野生のマルコポーロ・シブの群れに出会えたりで、それなりの収穫はありました。

まだツアーの観光客の行かない素朴なタジク族の住む山里での滞在も興味深いものでした。通訳兼ガイドのロシア人も幾分不慣れながらもよくやってくれ、旅程変更なども快く受けてくれたのも良かったです。特記すべきは冷えた地ビールの美味さ。

ただトイレ事情はいまひとつで、家内には不評。4人そろっての下痢という有難くないハプニングもありましたが大事には至らず。ダニに咬まれて痒い思いをしたのはバブさんと私の男性二人のみ。

帰国日の朝、予定にはなかったのですが、タシケントから半日かけて、北東方向の山麓をドライブして、西天山山脈の最西端の山々を眺めたのはいいオマケとなりました。写真の雪山はチムガン峰3309mで、大山の北面みたいな感じ。多くのクライマーが訪れるとのこと。積雪期にはスキー場も多く、好きな言葉ではありませんが、いわゆるリゾート開発のターゲットになっている模様。



ヌラタ山脈北麓



10月10日に集まろう

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年5月27日(水)12時46分18秒

90周年記念式典の10月10日まで後4か月半。

山岳会の皆様、予定をあけて大集合しましょう。

同学年や上下の学年にも声を掛けて、出来るだけ多くの人が集まる様に、詳しい案内は後日改めてお送りしますが、兎に角予定をあけておいて下さい。
まずは、お知らせまで。

スズコキャンプ

投稿者：松下哲夫 投稿日：2015年5月24日(日)23時06分16秒

今年も参加しますので、宜しくお願い致します。

松下

Re: スズコキャンプ

投稿者：武田雄三 投稿日：2015年5月15日(金)23時44分41秒

山本恵昭さんへのお返事です。

- > 今年のスズコキャンプは、6月6日(土)7日(日)で行います。
- > ちょっと季節の移り変わりが速いのでスズコがどのような様子か分かりませんが、まあ適当に集まってワイワイと飲みましょう。
- >
- > 6月6日10時に大段が平駐車場に集合。スズコ採り後、いつもの場所で宴会予定。
- > 参加希望の方は、この掲示板やメールでご連絡をください。

山にはよう入りませんが、6日の宴会には参加させて下さい。

すずこ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年5月15日(金)20時48分53秒

スズコキャンプ参加します。

連休の筋肉痛もなくなりました。

新たな痛みを求めて、参加。

今年もよろしく願います。

スズコキャンプ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年5月11日(月)23時26分6秒

今年のスズコキャンプは、6月6日(土)7日(日)で行います。

ちょっと季節の移り変わりが速いのでスズコがどのような様子か分かりませんが、まあ適当に集まってワイワイと飲みましょう。

6月6日10時に大段が平駐車場に集合。スズコ採り後、いつもの場所で宴会予定。

参加希望の方は、この掲示板やメールでご連絡をください。

ぴんぴんころり

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年5月10日(日)14時43分43秒

バブサンの写真集、伊那の桜 のなかで、赤い幟が立っている写真があります。この幟、ぴんぴんころりと書かれて、右上に、発祥の地 と書かれています。ここは伊那谷の南、高森町にある瑠璃寺というお寺で、このこのぴんぴんころりは土地の人が、ぴんぴんころりと生涯を終えるお札を作り、特許を取ったそう。一枚千円。伊那谷に行かれたら、一枚どうですか。いい死に方できませ。バブサンももちろん買ってます。

Re - 鹿島槍へのご返事

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年5月8日(金)10時17分52秒

筋肉痛が後になって出てくるのはお若い証拠。私らはその場で出てくるから。

Re: 鹿島槍

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年5月8日(金)00時04分27秒

> [No.2166\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

> 小生 鹿島槍東尾根に登ったのは、1960年5月3日でした。天気晴れ。第二岩峰はザイルをつけて、そのあとの頂上に出るまでの稜線も結構怖かった。今は鹿島槍は、遙か仰ぎ見る山、です。貴兄たち結構なお年でしょ。よくやるね。

3人合わせて、171歳になるかと。

気持ち的には30年前と同じで（成長せず？）チームワークは良いのですが、体力がついてきません。

私は（たぶん3人とも）、今日になってもあっちこっち筋肉痛で痛いです。

ハイキング

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年5月6日(水)14時21分12秒

元気なカンさんや大森君に刺激され山を歩いてきました。恥ずかしながら往復1時間の歩きと頂上で30分の昼飯でした。笛吹山997m、大山南壁が真正面、途中で見かけたイワカガミ、烏ヶ山。



鹿島槍

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年 5月 6日(水)12時58分31秒

小生 鹿島槍東尾根に登ったのは、1960年5月3日でした。天気晴れ。第二岩峰はザイルをつけて、そのあとの頂上に出るまでの稜線も結構怖かった。今は鹿島槍は、遥か仰ぎ見る山、です。貴兄たち結構なお年でしょ。よくやるね。

鹿島槍 東尾根

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年5月6日(水)11時38分28秒

次の山本君の書き込みにありますように、昭和60年正月の藪内君の鹿島槍遭難から30年あまり、今年の5月は川野・山本両君と追悼の山行に出かけてきました。

赤岩尾根からの往復だけでは物足りなくないか、ということで東尾根を選択しましたが、今後はそんな不遜なことは考えない方が良く、という結論に達しました。

1日目はアラ沢側の高度感と奥壁のスケールに腰が引けてのブツシュ登り。2日目は第二岩峰の変則2メートル余りをなりふり構わずようやく登って鹿島槍北峰を目前に。雪稜は「一步一步着実に」を心がけるとまあどうにかりましたが、トレーニングなしに昔の貯金だけで登るルートではありませんでした。

さて、鹿島槍に立って黒部側の2363mのピークや真下の東谷を目にして、搜索の日々とその後の30年の思い。資金援助や実際の搜索にご協力いただいた方々のこと、あの時期だけ接点を持ってその後はお目にかかる機会のない方のこと、記憶と写真の中でいつまでも変わらない藪内君のこと、いろいろです。

ところで、鹿島槍の南峰で会った大学山岳部のみなさん、元気で感じのいいみなさんでした。先様のホームページには外部から画像の貼り付けができないとのことでしたので、こちらにご披露しておきます。信州大学山岳部のみなさん、山登り長くお楽しみください。

写真1

第二岩峰の登り

写真2

鹿島槍南峰での信州大学山岳部のみなさん

写真3

学生のころ藪内君と山本君が3月1日バークで登った荒沢奥壁



鹿島槍ヶ岳東尾根

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年5月6日(水)02時23分25秒

1年上の先輩である藪内さんが、冬の鹿島槍で亡くなられて30年。大森さんと川野との3人で鹿島槍東尾根を登って追悼登山に行ってきました。

5月2日快晴。大谷原6：45発。林道の最初のS字を越えたあたりから右の尾根に踏跡を辿る。今年は雪が多いとのことであったが、この陽気で融雪が進みかなり積雪が少ない。藪漕ぎと暑さで体力を消耗する。立ち止まっては、藪内さんと3月合宿で登った荒沢奥壁南稜を目で辿る。14：00の沢頭を整地してテント設営。他に3パーティが泊。夕食後はちょっと飲み過ぎ。

3日晴れ。6：30発。急な雪稜雪壁を登り第一岩峰下へ。本来のルートは雪壁ルンゼのはずであるが、雪が全く無くガレた岩場になっている。先行パーティの時間待ちや落石も嫌なので、左の谷から大きく巻いて第二岩峰下へ突き上げる。第二岩峰は完全な岩登りで、ロープで確保して登る。チムニー状の登りが変則的で嫌らしい。第二岩峰を越えるとききれいな雪稜を辿って、鹿島槍ヶ岳北峰に12：30着。藪内さん達の遺体が見つかった黒部側の谷に向かって黙祷をする。稜線上はほとんど夏道が出ている。南峰で川野が信州大山岳部パーティに話しかける。彼らの膨れ上がった巨大なザックを見て大学山岳部らしい懐かしさを感じる。冷池山荘テント場に16：00。

4日夜半から時々小雨模様。6：00発。赤岩尾根上部のトラバースを終え少し降りた所から、西沢へ下る。雪も安定していて快適。途中からはシリセードであつという間に西沢出合の赤岩尾根登り口に到着8：30。ただし、オーバースポンは破れ、パンツびしょ濡れ。フキノトウ、コゴミなど、山菜採りをしながらのんびり大谷原へ9：30。

大町薬師の湯で汗を流し、たいした渋滞にもあわず神戸へ。

藪内さんの搜索の時には南峰北峰のコルからスタスタと下った黒部側の斜面が、30年経った今はとても急なものに見えました。30年という時間の長さを感じました。この3人のメンバーでしんどい雪山に行くのも小窓尾根以来、みんなの腹回りも1ランクアップ。この数年間も長いのかもかもしれませんね。





近江の山

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2015 年 5 月 5 日(火)07 時 12 分 17 秒

5 月 2 日再度高島トレイル マキノ高原 (200m) ~ 赤坂山 (823m) ~ 三国山 (876m) に

マキノ高原 7 : 30 出 ~ 17 : 30 マキノ高原着

4 月 12 日来た時とところどころに雪が残っていたが、今回は殆ど無く、イワガミ、トクワカソウの山野草を見もつての山歩き。三国山に 10 時半迄に行けたら敦賀野坂岳 (913m) まで行こうと張り切っていたが、三国山には 10 時 40 分着。この時点で野坂岳行きを諦める。普通ここ三国山から野坂岳まで健脚の人で 5 時間程かかる見たい。素晴らしいブナ林の新緑を見て帰るか、2 時間程敦賀寄りを散策したが、ブッシュこぎをしながら 10 数年前に行った白山笈ヶ岳の時を思い出した。

4 月の時は黒河 (くろこ) 林道経由で降りたが、今回は登ってきた赤坂山経由で降りる。

素晴らしいブナ林



総会・慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年 5月 2日(土)07時03分32秒

【1】総会 4月25日【土曜日】に開催された総会について簡単に報告いたします。

参加メンバーは 最長老は95歳東京から参加の旧制の福井 實 大先輩をはじめ23名

大森さんの手際のない司会ではじまり

? 会長挨拶 90周年を成功させるために皆さんの協力を依頼

? 26年度 報告

慰霊祭・秋の集会・山嶽寮・会計報告とあり

大学・中高の現状は現在部員がないのが非常に残念との事

? 27年度 事業予定

慰霊祭については遺族の乾 恵美子様 また家族参加では樋口 雅子さん・石川 洋子さんが参加予定

山嶽寮の発行については皆様の協力をお願いいたします。

秋の集会を取りやめ山岳会90周年記念行事として10月10日【土曜日】大学構内 パンセで開催する。

? 議題・報告事項

※90周年記念行事について

1) 2部制で行う 第1部はリレー放談 時代を区切って会員が喋る。また、南里さんの講演など第2部は立食パーティ

2) パーティーの人数を確保するために各学年間で連絡を取り参加を促す。会費は¥5,000とし同伴者は無料

3) 招待者については学長もしくは課外活動責任者など(検討中)

4) 10/10は授業があるので現場で学生を無料で呼び込みビンゴゲームなどを開催し山岳部を

宣伝してはという提案もありました

※山嶽寮について

編集の大森さんの大変なご苦勞を考えると90周年以降、隔年発行も視野に入れてみる。パソコン・DVDなどのメディアによる発行など

※副会長について

副会長 東京在住 川野 幸彦さん【S56年理】就任

※会費について

長期間の会費未納者には今後案内は送付するが発行物等については今後検討する。

【2】慰霊祭 4月26日【日曜日】

本年度の物故者は 故 大関 和夫 様【大37経】です。

ここ数年天候に恵まれなかった慰霊祭ですが今年は曇一つない晴天に恵まれ会員13名 遺族から 乾 恵美子さん・家族参加で香月会長のお孫さん樋口 雅子さん 牧野さんの娘さん 石川 洋子さんの参加がありました。



ありがとうございました。

投稿者：石川 洋子 投稿日：2015年4月28日(火)09時16分8秒

初めてこの慰霊祭に家族で、参加させていただいた牧野の娘、石川です。

小学2年生、4年生男子ずれでしたので、なにかとご迷惑、そして皆様のお力添えをいただき無事、慰霊祭参加することができました。とてもよい経験になりました。

ありがとうございました。山の中で部歌をいっしょに歌わせていただき、なにか感じいるものがありました。

またの参加をたのしみしております。

うちは、保久良山のすぐ下に住んでいるのですが毎年の集中豪雨による土砂くずれなど、六甲山

まだなにもしりませんが、いろいろこれから悩みの多い季節です。

つぎは、6月に家族で有馬いきを予定しております。

ヨタヨタの慰霊祭

投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月26日(日)22時25分11秒

晴天に恵まれいい山歩きが出来たといいたいところが、バテバテで遅れて皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。今回初めて家内のサポート付きで臨みましたが、甲南レリーフまでがこんなに遠く感じたのは初めてです。歩きながら、慰霊祭参加ももうこれが最後かと思った次第ですが、帰途の車中で、考え直し、次回は一行より小一時間早く出発すればよいのではと思い直したりしています。

それにしても、最近訪問の度に、レリーフ一帯の岩盤の劣化が激しく感ぜられ、いつまでもつのか不安になりますね。

芦屋でのビール一杯が果たせず残念でしたが、帰りはスムーズで車内で缶ビールにありつき、7時には横浜の自宅に戻れました。

まずは参加の各位にお詫びと御礼まで。

小原（オニ）さん追悼

投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月24日(金)10時00分21秒

このところ年に2～3回、春の総会、初夏の奥飛騨、秋の木曾駒でお会いするのが楽しみでした。昨年の奥飛騨ではすこしお元気なく、秋の駒王は欠席されたので心配いたしました。直筆達筆の年賀状を頂いて安心しておりました。突然の訃報に接し、ご病状伺いも出来ずじまいだったのが慙愧に堪えません。

ギョロリと睨まれたら泣く子も黙る、あのオーラで、残された名言、逸話は数知れず、いまや伝説となって語り継がれていくことでしょう。猥談もさることながら、数年前に、若き日の高度成長期の石油化学コンビナートで大型機器の搬入や据え付けで指揮を執られた頃の情熱を熱く語られたことなども強く印象に残っております。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2015年4月23日(木)22時19分1秒

オニさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。山岳部で恵まれた素晴らしい先輩方のなかにオニさんがおられたことが、少年時代の私の人生をどんなに豊にしてくれたことか。

訃報

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年4月23日(木)16時14分55秒

4月23日、小原耕治さん（31年経）が亡くなりました。

通夜

4月24日19時より

告別式

4月25日10時より

ベルコシティホール宝塚

宝塚市鶴の荘 2-25
TEL0797-81-7979

カカボ・ラジ再放映

投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月15日(水)11時58分25秒

関学OBの南井英弘さんが教えてくれました。

NHK総合

4月17日(金)深夜、夜半過ぎ 00:10~01:00

即ち4月18日(土) 00:10~01:00

深夜なので眠い方は是非録画をお勧め。

Re: カカボラジ 予告サイト

投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月12日(日)22時52分43秒

> [No.2153\[元記事へ\]](#)

追伸

雨さんからもらった資料によれば、ナショジオ後援のアメリカ隊が日本隊のすぐ後に入山して、同じルートに挑戦したが、やはり敗退している。この隊はカカボ・ラジの正確な標高を求めたが、それはかなわなかった。前年に他のアメリカ隊が隣接のギムラン・ラジ 5870m に登頂しており、これがカカボ・ラジよりわずかに高いのではないかとの説があるという。カカボ・ラジ（5881mといわれてきた）が東南アジアの最高峰であるかどうかはまだ未確定といのも何だか面白い。

Re: カカボラジ 予告サイト

投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月12日(日)15時14分13秒

> [No.2153\[元記事へ\]](#)

昨夜のTV楽しみました。20年前の尾崎隆以来まだ第2登されず、これぞ秘境の山という感じが出てました。

山奥の集落での歓迎ぶりがちょっとヤラセ的ではありましたが、長く困難なアプローチのすえ、屈強の3人がぎりぎりのところで断念して下山するというのも、タレントを引っ張り出して頂上に立たせて、良かったバンザイ的な番組の対極で好ましかったです。関学若手OBの中島君も頑張ってますね。

きっと再放送あると思いますので、昨日見逃した方は是非。

カカボラジ 予告サイト

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年4月9日(木)15時03分6秒

NHKスペシャル

幻の山 カカボラジ

～アジア最後の秘境を行く～

二楽荘の本

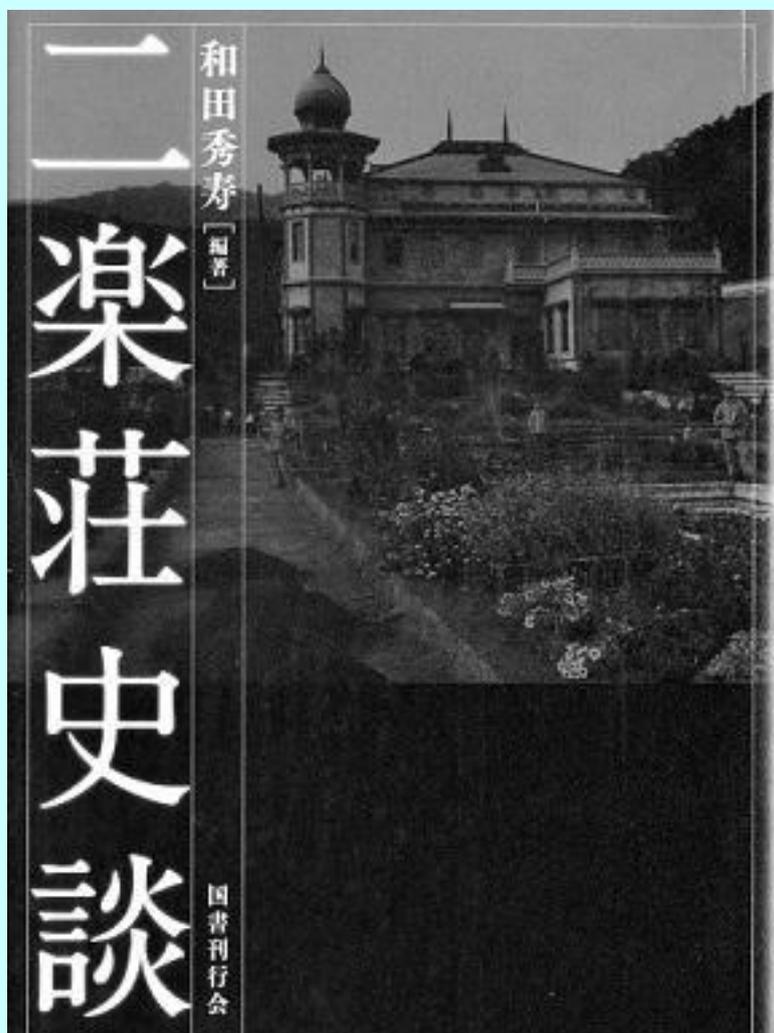
投稿者：越田和男 投稿日：2015年4月6日(月)16時40分0秒

甲南の裏山にあり、昭和の初期に不審火で焼失した二楽荘については、以前この掲示板で話題になった事がありましたので、下記紹介いたします。

和田秀寿 編・著『二楽荘史談』図書刊行会 2014年11月刊 定価：本体3,600円

かつて西本願寺の大谷光瑞が建てた超豪華別邸の概要と顛末が、だいたいこの一冊で解るようになっていきます。明治～大正～昭和初期の阪神間の土地柄、大谷光瑞と大谷探検隊、さらに甲南学園との関わりなど、興味ある内容で、写真も豊富。

「二楽荘関連年譜」などの巻末資料が完璧で、主要参考文献に甲南関係が多数。香月慶太さんが同窓会誌『甲窓』にお書きになった「二楽荘下の学園」まで載っていました（残念ながら本文の引用はない）。書下ろし論考として「二楽荘私的研究史」「阪神間モダニズム文化の中の二楽荘」「二楽荘と都市計画について—大谷光瑞にとって二楽荘とは何だったのか」がある。



投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年4月4日(土)10時55分23秒

廣瀬健三さんへのお返事です。

> 平井吉夫さんへのお返事です。

>

> > 補遺。左から、牧野、平井、北方、田辺、藤岡先生。なお、ガチャは2年ダブった高校3年生。

> -----

> 平井センキチ、懐かしいので、久しぶりに古いアルバムを見てます。雪崩の危機のため、不帰一峰登頂ならず、それにしても南股は良く行ったね。廣瀬

Re: (無題)

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年4月4日(土)10時54分13秒

> [No.2148\[元記事へ\]](#)

平井吉夫さんへのお返事です。

> 補遺。左から、牧野、平井、北方、田辺、藤岡先生。なお、ガチャは2年ダブった高校3年生。

平井センキチ、懐かしいので、久しぶりに古いアルバムを見てます。雪崩の危機のため、不帰一峰登頂ならず、それにしても南股は良く行ったね。廣瀬

Re: 観桜会は中止

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年4月4日(土)10時01分13秒

> [No.2145\[元記事へ\]](#)

安井さま

すみません、私と井上さんの祈りが足りなかったばかりに。

ところで、ウメ・サクラときたら次はフジ、それからショウブ。

花はいろいろ続きますのでまたお誘いください。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2015年4月3日(金)19時15分8秒

補遺。左から、牧野、平井、北方、田辺、藤岡先生。なお、ガチャは2年ダブった高校3年生。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2015年4月3日(金)19時10分2秒

塩崎さん、ありがとうございます。掲載して下さった写真は昭和30年の春山、場所は白馬南股。ガチャとポンと私（いずれも高校1年）とコプク（中学3年）で不帰1峰をねらった合宿時のスナップです。

写真

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年4月3日(金)18時50分29秒

平井先輩からの依頼で写真をUPします。



観桜会は中止

投稿者：安井 正 投稿日：2015年4月3日(金)11時56分47秒

天気ははっきりしません。

神社周辺に東屋もありませんので、4日の観桜会は中止と致します。

Re: 今度は桜で一杯は如何

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2015年4月3日(金)05時59分27秒

> [No.2137\[元記事へ\]](#)

安井 正さんへのお返事です。

- > 保久良梅林の端に桜が数本あります。
- > 4月4日(土) 11時頃から保久良鳥居前に居ます。
- > 二週間後では遅きに失するかもしれませんが、葉桜で一杯も一興では？
- > なお保久良の梅はここ数日前から散り始め、観梅会は一ヶ月早かったです。

- > 的外れの安井より花見のご案内。
- > ヤッさん、参加します。宜しく！

幻の山 カカボラジ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年4月2日(木)14時26分56秒

NHKスペシャル。4月11日(土)午後9時～9時49分。

ミャンマー北部に位置する山(5881m)。

1996年尾崎 隆が初登頂(植村直己冒険賞第一回受賞者)

Re: 今度は桜で一杯は如何

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年4月1日(水)21時35分58秒

> [No.2137\[元記事へ\]](#)

安井 正さんへのお返事です。

> 4月4日(土) 11時頃から保久良鳥居前に居ます。

4日参加させていただこうと思いますが、雨の予報ですね。

雨の場合はどうされますか。

雨でも、東屋等、どっか雨がしのげる場所があればいいのですが。

氷ノ山 横行溪谷周回山スキー

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年3月29日(日)22時46分28秒

2シーズンぶりに、山スキーに行ってきました。

当初は、3日かけて小谷温泉から大渚山・雨飾山・金山とロングツアーへ行くとつもりでした。しかし、久しぶりに道具を点検しているとシールの末端バンドが劣化してボロボロに。これではロングツアーは無理ということで、1泊で氷ノ山のお気に入り横行溪谷へ行くことにしました。

3月27日、横行溪谷の林道は、「ブナのしずく」からちょっと上がったところで積雪のため通行止。7:00シールで登るが、何度も雪が途切れてスキーの脱着がめんどくさい。林道終点の東屋は雪で埋まり、屋根に2mほどの雪が乗っている。ここからは、以前大森さんと来た源流コース。すばらしいブナ林の中を上り詰め、千本杉から山頂へ12:30。

山頂で「どこから」と声をかけられた方をよく見ると、神戸大山岳会の土山さんだった。友人と神大ヒュッテをベースに4日間ほど雪山を楽しんでおられるとのこと。「ぜひ小屋に」とお誘いを受け、ご一緒することに。神大ヒュッテで薪ストーブを囲み、昼間からほろ酔い気分の贅沢な一夜。

29日朝もゆっくり起きて、朝食前に千本杉まで空身で登り一滑り。朝食後10:00、天気は上々、そのまま下りるのももったいないので、横行溪谷の南側の尾根を回って下ることにする。山頂斜面をトラバースし、南へ続く尾根上は上り下りがめんどくさいので、東側斜面を高度を下げないように滑り込み、二の丸手前ピークへ登り返す。ピークで景色を眺めながら大休止11:00～?。東に伸びる広い尾根を下る。快適なブナ林の緩斜面が続くが、意外と所々灌木が濃い部分がありわずらわしい。あっという間にやまめ茶屋からの林道に合流し、横行溪谷東屋へ12:00。長い林道をひたすら下るが、単調さに疲れて時々沢際へ下りてイワ観察。駐車場所へ13:00。

わくわくする当初の計画を諦めて、手近な氷ノ山で我慢することにしました。しかし、神大ヒュッテを利用させていただき、テントで濡れることも無く、避難小屋で寒い思いをすることも無く、立派なブナ林に包まれた横行溪谷を周回し、山スキーを楽しんできました。

観桜会

投稿者：牧野 宏 投稿日：2015年3月27日(金)15時58分20秒

安井さま

観梅会はお世話に成りました。

絶好の日和にも恵まれ実に楽しい集まりでした。

4日の観桜酒宴に、今回も娘の家族と参加させて頂きたいと思っています。

小4、小2の孫たちは、山岳部に入るかどうかはともかく

宴会は好きなようです。

宜しく願いいたします。

保久良のサクラ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年3月25日(水)22時19分51秒

安井さま

梅見の折は欠席しましたが、観桜会には参加します。

4月4日ね、と思いながら通勤電車で見えています。いますね気の早いのが。

灘と西宮と尼崎と、ホントにぼつぼつですが咲いています。

ちょっと早くないですか。

あと10日。まあ、山の上だし春休みの終わりがけでもきっと咲いているでしょう。

サクラが盛りを過ぎていても、ハナシにハナが咲くのは間違いないし。

あとはいいお天気を、井上さんと一緒に祈ります。

桜で一杯

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年3月23日(月)21時57分18秒

桜で一杯 楽しみです。参加いたします。

前回の梅に続いて楽しい酒の企画、安井 正先輩ありがとうございます。

4/4日 美しい桜と晴天を祈ります。

今度は桜で一杯は如何

投稿者：安井 正 投稿日：2015年 3月 22日(日)13時 28分 38秒

保久良梅林の端に桜が数本あります。

4月4日(土) 11時頃から保久良鳥居前に居ます。

二週間後では遅きに失するかもしれませんが、葉桜で一杯も一興では？

なお保久良の梅はここ数日前から散り始め、観梅会は一ヶ月早かったです。

的外れの安井より花見のご案内。

甲南歌唱祭

投稿者：越田和男 投稿日：2015年 3月 2日(月)23時 19分 27秒

今年も開かれるようです。山岳部の「山の歌」もプログラムに入っています。

甲南山岳会の存在感を示すべく、90年の歴史を誇る山岳部のOBが一人でも多くが参加され、歌ってけると良いのですが。

日時：3月7日(土) 13:00~16:00

場所：平生記念セミナーハウス

会費：3000円

Re: 観梅

投稿者：越田和男 投稿日：2015年 2月 22日(日)23時 08分 55秒

> [No.2132\[元記事へ\]](#)

誠に結構な観梅の宴、羨ましく限りです。

小生の同期の後期高齢者が3名（イーチャン、ドングリ、お星さん）も参加して、元気なようすで何よりと存じます。

横浜も梅の盛りはこれからです。今週は近くの大倉山梅林に行ってみるつもりです。

ありがとうございました。

投稿者：石川 洋子 投稿日：2015年 2月 22日(日)12時 53分 25秒

昨日は、楽しいひとときに参加させていただき、ありがとうございました。

牧野の娘、石川 洋子です。ファミリーで参加させていただきました。

もうひとり、むすこが参加させていたのですが、友達と遊びたさにさきにいってしまいました。

保久良神社の参道の入り口の家に縁あって、越してきて4年。ほんとうによいところきたなあ
と実感した一日でした。

すぐに山にいけるし、こんな企画にいれていただける！

わたしが一番はりきっていますが、やまに関しては2回目の有馬いきをファミリーで春に企画中です。男の子二人、たくましく山に親しんでほしいです。

よろしく指導ください。

後、子育てその他で気があがると山をあるくとわたしは気が落ち着き、風吹岩によくたすけられています。

来年もぜひ、保久良 梅見会 開催してください！！

ありがとうございました。

Re: 観梅

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年 2月 22日(日)12時 31分 14秒

> [No.2132\[元記事へ\]](#)

安井様

観梅会、お世話になり有難うございました。

掲示板にあんまり反応がないので、誰も来ないのかなあと心配していました。

でも、坂を登って梅林に着くと、安井さん、牧野さん、田中さん、藤安さん、井上さんがすでに宴会モードに。すぐに、初めてお目にかかる山本千秋さん、しばらくして牧野さんの娘さんご夫婦とお孫さんも登場し、にぎやかな会になりました。

梅はまだこれからというところでしたが、楽しい話題に花が咲き、ちょっと一杯のつもりが本格的に飲み続けてしまいました。

今から40年ほど前、私が高校生の頃に南里先生からお話を伺っていた山本千秋先輩と、今回初めてお会いすることができて感激です。

また、よろしく願いいたします。

観梅

投稿者：安井 正 投稿日：2015年 2月 22日(日)11時 18分 0秒

梅は少し早かったですが、晴天に恵まれ心地よく酔いました。

左側お二人は牧野さんのお嬢さん夫婦で、右端は山本千秋君（中高山岳部の後輩）です。



Re: 梅で一杯は如何

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年2月21日(土)09時42分18秒

> [No.2130\[元記事へ\]](#)

安井 正さんへのお返事です。

- > 保久良梅林の梅の蕾が膨らんできました。
- > 21日（土曜日）は満開とはいかずとも観梅時期と思います。
- > 雨が降らなければ小生 11 時頃から酒と肴を持ってベンチでぼけ～っとしています。
- > 「岡本梅林」へお越しになりませんか？

夕方、実家へ行く用事があるので、保久良梅林に寄らせてもらいます。
梅林でちよいと一杯。参加します。お昼くらいになるかと思います。

梅で一杯は如何

投稿者：安井 正 投稿日：2015年2月14日(土)19時20分47秒

保久良梅林の梅の蕾が膨らんできました。
21日（土曜日）は満開とはいかずとも観梅時期と思います。
雨が降らなければ小生 11 時頃から酒と肴を持ってベンチでぼけ～っとしています。
「岡本梅林」へお越しになりませんか？

スキー

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年2月10日(火)09時37分15秒

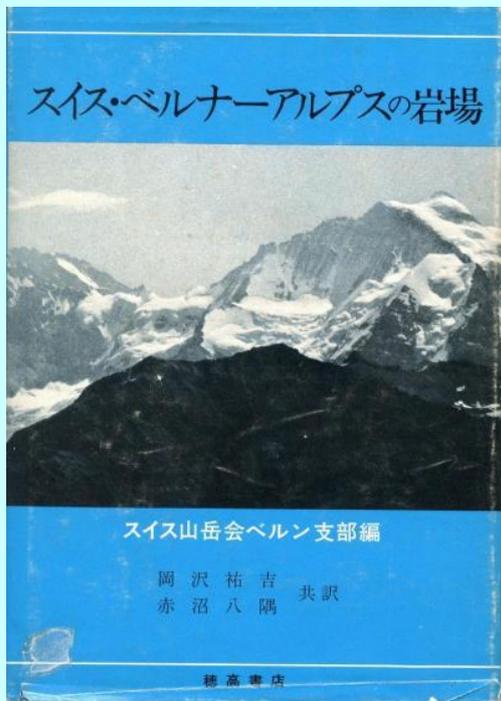
3月4日、5日 樽池に泊まっています。
午前中滑って、そのあと温泉に浸り、蕎麦と天麩羅で一杯やろうと思っています。
来ませんか。

Re: 本のご寄贈

投稿者：越田和男 投稿日：2015年2月2日(月)23時03分36秒

> [No.2127\[元記事へ\]](#)

ご参考まで書影を送信しました。



本のご寄贈

投稿者：越田和男 投稿日：2015年 1月31日(土)16時20分41秒

このたび、日本山岳会図書委員会の先輩・岡沢佑吉さんから、下記図書を甲南山岳会の方々にとご寄贈のお申し出があり、有難くお受けすることになりました。

スイス山岳会ベルン支部編
岡沢佑吉・赤沼八隅共訳
『スイス・ベルナーアルプスの岩場』
穂高書店 昭和49年刊 248頁

ベルナーアルプスの山々の主だったルートについてのルート図付きガイドブックです。難度の高いヴァリエーション・ルートは含まれてませんが、アイガーの北壁や、日本人には馴染みのミッテルルギ山稜などは載っています。山岳史の本ではないので、各ルートの登攀歴などは詳しくはないのですが、ところどころに初登攀者名などの記載はあり、唯一の日本人として、田口一郎・二郎兄弟の名前がシュレックホルン北壁の初登攀者として登場します。そんなことから、訳者のおひとりの岡沢さんが、甲南山岳会の方々の書架に収めてもらえればとご発案で、今回のご寄贈となった次第です。

既に、平井幹男会長のところに30冊ばかり届いております。今後、2月の平生記念館での集まりや、4月の総会の席で、ご興味のある方にお持ち帰り頂くのが良いのではと思いますが、それまでもご希望のある方は平井会長にご連絡あるいは本掲示板に書き込んで申し込まれても結構です。もちろん無料です。

ちなみに、本書は山関係の古書店では入手困難で、すでに稀覯本となっております。

フクデンさんのアルバム

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年 1月27日(火)23時14分21秒

50年前の柏さんの写真よりもう少し前、80年くらい前のお話を。

雨宮さんのご指示で、安井さんが大学からフクデンさんのアルバムを借りてきてくださいました。
年末年始にスキャナで取り込むことは少し前に書きこみました。
結構時間がかかりましたが、ようやく作業が終わって資料をお返ししようとしていたところです。

別に、ちょっと用事があった古い山嶽寮をごそごそ探していたら、平成18年・61号の伊藤文三さんの寄稿、「記録の無い山行－昭和11年の鹿島槍東尾根－」が目にとまりました。

探していたのは別のものだったのですが、枝道にそれで寄り道するのはよくあることです。

内容は、お二人が尋常科4年の5月、九州への修学旅行をさぼって一緒に鹿島に出かけた時のこと。
読み進めるうちに編集作業時には気づかなかったミスなど目について、また忸怩の思いになりましたが、まあこれもよくあることです。

文三さんは

「甲南の正規の記録には無いこの山行、記録をよく整理し山行の記憶力抜群のフクデンと、あの世で思い出話をしようと思うこの頃であります」

と締めくくっておられます。

伊藤さんの書き方は、四角く構えず洒脱でイイナと思うのは私のほかにもおられますでしょう。

ナカミのほうも、学校行事サボって好きな山に出かける。ちょっと楽しそうではありませんか。
でも、15かそこの坊やが5月の鹿島ね。情熱のかけ方が違うなあ。

へ、昭和11年5月の鹿島？ あ、取り込んだアルバムにありましたで。

さすがに「記録をよく整理し」ておられたフクデンさんです。

アルバム4ページのうち2ページ分、解説メモのついているのを画像で添付します。

フクデンさんも文三さんもご覧になれますか。

これでまたお話がはずみそうですでしょうか。

昭和11年5月底喜東尾根

山-福三伊藤

山頂尾根登攀-伊藤三太郎(伊藤三太郎)と
大塚(大塚)と(大塚)と(大塚)と(大塚)と

尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)



尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)



三ノ沢合点附近

尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)
尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)尾根(尾根)

Re: レリーフ前の写真

投稿者: 柏 敏明 投稿日: 2015年 1月 27日(火)18時 29分 4秒

> [No.2124\[元記事へ\]](#)

武田雄三さんへのお返事です。

森本さんの隣が後藤さん、その隣が福永さん、お二人の間が中島さん。小生は飯田さんと安井さんとの間です。竹中さんは記録によれば参加されていません。

二谷さんと村上さんが判りません。恐らくどちらかがシャッターを切られたのではないのでしょうか。

レリーフ前の写真

投稿者：武田雄三 投稿日：2015年 1月27日(火)13時58分45秒

柏さん

しっかり撮れた鮮明な写真の提供有難う。

雪見会より帰ってジックリ見直し、昭和36年（1961年）入部の貴兄達新人歓迎「5月剣西面合宿」の馬場島レリーフ前集合写真と判りました

越田さんの投稿と同様、何人か思い出せない人物が・・・それではと山嶽寮75周年記念号で合宿参加メンバーを確認しました・・・が、どうしても名前と顔が一致しない人物が（失礼を承知の上で、小ぷく・二谷・村上・貴兄・竹中・中島の諸氏）。

やはり50年以上前の事、自分を探すのも一苦勞・・・因みに水渡氏の右隣は本田氏です。

これで写真の全員が判明したと思われませんが???

小生には二谷・村上・貴兄・竹中の皆さんが集合写真の何処に居られるのか判りません、何方か教えて下さい。

カメラマン役の貴兄はヒョットシテ写って居ないのでは？

記念号の編集、ご苦勞さまです。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2015年 1月27日(火)09時36分32秒

大森さん、山岳寮に加えて記念号の編集ご苦勞さまです。アルバムの返却は急ぎません。

越田先輩の仰る通り、昭和36年5月剣岳西面合宿の入山日、慰霊碑の前での写真です。

この合宿で、田辺、越田、倉藤、武田先輩が大窓の頭白萩川側壁を初登攀されています。

伊丹さん、菅さんは塩崎さんのご指摘の通りです。森本先輩の横が後藤さん、その後ろが中島さん。あと水渡さんと藤原さんとの間の人があはつきりしません。残りの参加メンバーからしますと村上先輩になるのですが、どうも違うようです。

Re: 写真ありがとうございます

投稿者：塩崎将美 投稿日：2015年 1月27日(火)06時22分59秒

> [No.2120\[元記事へ\]](#)

大森雅宏さんへのお返事です。

山嶽寮の編集ご苦労様です。

梅池から帰って来ました。

前田館ではこれは〇〇さんでは〇〇と違うかと盛り上がりました。

塩路さんの横で顔だけ見えてるのは伊丹さん？

その後ろは菅さん？

塩崎

Re: 写真ありがとうございます

投稿者：越田和男 投稿日：2015年 1月26日(月)22時56分1秒

> [No.2120\[元記事へ\]](#)

大森雅宏さんへのお返事です。

初めて見る写真です。写ってるメンバーから推定して、昭和36年5月、馬場島の甲南レリーフの前ですね。

O Bの賀茶さん、越田以外は現役部員で、倉藤、福永(弟)、飯田、鶴木、森本、長谷川、武田、竹原、安井、堀田、水渡、奥山、井本、柏、塩路あたりまで判別できますが、あと数名わかりません。半世紀以上も前の写真です。

写真ありがとうございます

投稿者：大森雅宏 投稿日：2015年 1月25日(日)21時18分49秒

柏様

アルバムありがとうございました。

5冊。

休みを使って取り込み終了しました。

おかげさまで、山嶽寮のねたは増えました。

近々取り込みデータをお付けして郵便でお届けします。

ところで。

皆様、梅池なんですね。

75周年やら何やらで、おなじみの写真もたくさんありましたが、初めて拝見の1枚添付します。スマホだと拡大してもムリですか。なんとなく登場人物お分かりになりますか。

40年か50年くらい以前の写真かなと、拝見しました。



Re: 雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年 1月12日(月)17時10分51秒

> [No.2118\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

> 山本君 和光さんのメールもらってありません。もう一度お骨折り願います。
和光さんからの1月7日付メール内容です。それ以降の追加希望者は確認できていません。

山本さん

和光です

24日・25日の2泊（共に夕・朝食）で行く予定です。

24日お昼に宿に着きます。

どなたか同行する人はいませんか？

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年 1月12日(月)16時57分59秒

山本君 和光さんのメールもらってありません。もう一度お骨折り願います。

Re: 雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2015年1月12日(月)16時27分24秒

> [No.2116\[元記事へ\]](#)

> 通知忘れの方、いませんか。

飯田様

私は、残念ながら父の1周忌と重なり、今年も参加できません。

神戸大の和光さんからの参加希望メールを転送したつもりですが、届いていますでしょうか。

また、パソコン不調のため、現在メールの確認ができません。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年1月11日(日)10時39分43秒

雪見会参加者 10日現在

雨宮 米山 武田 安井 水渡 塩崎 平井 井上 谷 飯田

以上です。

通知忘れの方、いませんか。

消息2件

投稿者：越田和男 投稿日：2015年1月9日(金)17時50分32秒

福井實（グリーン）さん(昭和17年旧高卒 94歳)

しばらくご無沙汰していたので、様子伺いのつもりで年賀状を差し上げたら、お電話を頂いた。

神戸から帰京されたばかりで、お元気そのもの。足腰しっかりだが、ボケが激しいと冗談を言っておられた。東京での飲み会には是非参加したいので連絡してくれ、とのことでした。

平井吉夫（センキチ）君（昭和32年新高卒 75歳）

5年前の多臓器摘出の大手術はすでに後遺症もなく克服。今度は暮れの11日に肺癌の手術で左肺の半分を切除。術後ひと月経たない1月6日には、J A Cの図書委員会に病後とは思えぬ元気な顔で現れて、2次会にも付き合い、ちゃんと人並みに遅くまで酒も飲んでました。さすがに煙草はやってませんでした。

以上、元気印のお二方の様子をお伝えしたくて。

平生会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年1月9日(金)11時21分0秒

90周年準備と山岳会総会の打ち合わせを兼ねて、

平生会を開催したいと思います。2月28日(土)15時より2時間程度ですので、ご意見などをお聞きしたく、時間に余裕がある方はお集まりください。平生会館、6号室を予定しています。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年1月9日(金)10時14分33秒

昭和35年3月 小生怪我した友人を送って、上越高田の中央病院にいました。関温泉にスキーに行つて、滑走中電柱にぶつかり、腰骨を折った友人を、スノーボードに乗せ、7キロ先の関山駅までおろし、そこから梯子にくくりつけ、汽車の窓から車内にいれ（三等車の窓は小さいので、二等車の窓から）高田の駅から救急車で中央病院へ。彼はここで夏まで暮らした。

あれから55年。1月7日 再び この病院の救急外来待合室にいました。なんでか？

朝11時ころ、杉野沢グレンデ。まずガチャさんがバブサンを跳ね飛ばし、そのまま雨さんに激突、失神してしまつた。そこでスノーモービルで駐車場へ。そこから小生の車でホテルへ、

ホテルから救急車で病院まで搬送（55年前と違うところ）以前の木造りの病棟から近代的な高層ビルに建て替わつた病院の救急待合室に居たのであります。55年たつて施設もインフラも近代化したなか、人間だけはおんなじこと繰り返しているのですね。

追、ガチャさんも雨さんもバブサンも軽傷です。ただ老いに拍車がかつたかな。

雪見会

投稿者：井上 知三 投稿日：2015年 1月 9日(金)07時43分15秒

参加します。

23日【金】夕食から26日【月】の朝食まで

いつもながらのことですが飯田さんのお世話に感謝します。

今回もよろしく願いいたします。

雪見会

投稿者：塩崎将軍美 投稿日：2015年 1月 8日(木)20時25分48秒

参加します

23日夕食から25日朝食まで

宜しくお願いします

雪見会

投稿者：武田雄三 投稿日：2015年 1月 7日(水)14時20分19秒

飯田様

24日……夕食

25日……朝食・夕食

26日……朝食

にてお願い致します。

九州温泉山旅

投稿者：山本恵昭 投稿日：2015年 1月 7日(水)01時49分25秒

年末、妻と大分へ、温泉と焼酎三昧の車中泊山旅に行ってきました。

神戸六甲アイランドからの夜行フェリーで、26日大分港に早到着。

その日に長者原まで行き、雪山支度を整え入山。久住山と九州最高峰の中岳に登る。好天の中展望を楽しんでいると、2回爆発音が轟き、緊張が走る。すぐ近くの硫黄山は普通に蒸気を出しているだけだったの

で、どうやら阿蘇の爆音だった模様。遠くに見える阿蘇山からは黒い噴煙があがっている。秘湯と言われる法華院温泉山荘まで下って宿泊。当然、温泉入り放題、焼酎グビリ。

27日快晴の中、久住山の展望台大船山へ登り、下山。山荘で仕入れた情報を元に、山里の湯へ。知る人ぞ知る炭酸泉で、入っていると全身泡だらけとなりポカポカしてくる。地元の登山家のおじさんたちと楽しく談笑。

その後、スーパーで買出しをして、一路小国温泉くぬぎ湯へ。コイン式の家族湯で50分800円。ちょっと硫黄の香りがするが、湯にこれといって強い個性はない。わざわざここまで来たのは、温泉利用すると蒸し釜が無料で利用でき、車中泊もOKとのこと。早速、蒸し釜に食材をセットして、入浴。風呂上りは、豚バラ、鶏肉、レタス、ブロッコリー、サツマイモ、温泉卵、豚まん、蒸し釜料理フルコース、そして焼酎。

28日のんびり朝食を済ませ、由布院へ。由布岳西峰ピストン。上部の岩場には雪がついて結構迫力あり。期待していた眺望は、急にガスが出て残念。下山後は、湯布院康葉で日帰り入浴。珍しい青湯と呼ばれる炭酸水素泉で、メタ珪酸の効果で肌ヌルヌルスベスベ。

その後、ちょっと趣を変え、国東半島へ。杵築でちょっと張り込んで海鮮炭火焼の夕食。道の駅くにさきまで行き、焼酎で車中宴会、車中泊。

29日駐車場からすぐの海岸でご来光。ごみがほとんどないきれいな海岸。道の駅の店が開くのを待って太刀魚寿司やみかんなどを仕入れ、国東半島を一周。全国八幡社の総本宮、宇佐神社に参拝。

別府へ戻り、竹瓦温泉へ。別府を代表する古い公共温泉で、趣がある。たまたま無料の日だったようで、混雑していたのが残念。百貨店で惣菜を買って、夜のフェリー船旅へ。徹夜運転をせずに、飲んだくれて風呂にも入って帰れるので快適。





雪見会

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年 1月 6日(火)15時 58分 12秒

今回初めて参加させていただきます。1月24日夜食から26日朝食までお願いします。宜しくお願いします。

謹賀新年

投稿者：tani 投稿日：2015年 1月 5日(月)00時 58分 16秒

明けましておめでとう御座います！
本年もどうぞよろしく願いいたします！

雪見会

1月24日夜食から25日朝食までお願いします！

写真は昨年12月の八ヶ岳中山尾根上部岸壁
雪がべっとりついてホールド・スタンスが分かりず、なかなかしびれましたが好天に恵まれ充実の足慣らしでした。



雪見会 参加

投稿者：安井 正 投稿日：2015年 1月 2日(金)21時09分17秒

1月23日夜食から25日朝食まで。
よろしく申し上げます。

雪見会 参加

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2015年1月1日(木)14時16分42秒

1月23日夜食から1月25日朝食まで。

天気都合で延長の時は、直接、前田館に言います。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2015年1月1日(木)09時32分45秒

謹賀新年

平成27年 元旦

本年もよろしくお願い申し上げます。

雪見会 参加される方、1月10日までにお知らせ願います。

明けましておめでとうございます

投稿者：平井幹男 投稿日：2015年1月1日(木)00時28分44秒

山岳会の皆さま、明けましておめでとうございます。

本年は山岳会90周年、良い年になる事を心より祈念いたします。

総会、90周年パーティー、皆さまとお会いできる事を楽しみに、願っております。